

令和3年度 予算事業説明シート

事務事業名	環境対策一般事務事業	新規/継続	継続事業	<small>事務事業の総点検の整理番号</small>	0132401000-001		
		予算所管課	市民生活局環境室環境総務課				
		連絡先	(078)918-5029				
関連予算科目	会計	一般会計	事業所管課				
	款	衛生費	連絡先				
	項	保健衛生費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 22 年度	
	目	環境衛生費	根拠法令・要綱等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する条例、労働基準法、労働安全衛生法、職員安全衛生規則等			
	事業	環境対策一般事務事業					
施策分野	4 生活・環境分野	実施方法	直営	○	補助・助成	その他	
	4-3 環境の保全と創造		委託		指定管理		
個別計画	環境基本計画						

事業の目的・目標
目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）
 環境室職員の労働災害の防止や心身の健康の保持増進を図ることで、安全で快適な職場づくりを推進する。
 環境室及び環境総務課の事務を適正かつ効率的、効果的に執行する。

成果指標				
指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
労働災害発生件数	労働災害発生件数ゼロを目標に、安全で健康に働くことができる職場の実現に向けた安全衛生の取組を推進する。	令和3年度	件	0
私療養休暇発生件数	私療養休暇発生件数ゼロを目標に、安全で健康に働くことができる職場の実現に向けた安全衛生の取組を推進する。	令和3年度	件	0

事業内容

- ①室職員の安全衛生の推進
 【安全衛生委員会の開催】 毎月1回開催
 【環境室独自事業の開催】 職場巡視、年末年始無災害運動月間セミナー及び研修等を実施
- ②環境室における防災安全、危機管理の推進(実働訓練の実施等)
- ③環境法規等に関する調査研究(全国都市清掃会議等への参加等)
- ④災害廃棄物処理に関する取り組み
- ⑤室及び課の庶務(室内取りまとめ、入室札参加者等資格審査会の開催、室課予算執行管理等)
- ⑥その他、室内各課が所管しない業務

SDGs(17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
							○			○		○				

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	ｱﾊﾞｲﾄ	その他	
01決算	5,034	24,273	29,307	0	0	0	29,307	正規	2.65	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
02当初予算	6,518	23,355	29,873	0	0	0	29,873	再任用	0.00	その他	0.00
03当初予算	5,664	23,355	29,019	0	0	0	29,019	任期付	0.70	合計	3.35

令和2年度 当初予算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額	令和3年度 当初予算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額
	旅費	近接地旅費等	700		旅費	近接地旅費等	540
需用費	消耗品費等、燃料費等	2,100	需用費	消耗品費等、燃料費等	1,993		
役務費	公用車共済基金分担金、講習受験手数料等	166	役務費	公用車共済基金分担金、講習受験手数料等	191		
使用料及び賃借料	タクシー使用料、環境室駐車料金等使用料等	2,850	使用料及び賃借料	タクシー使用料、環境室駐車料金等使用料等	2,300		
負担金補助及び交付金	研修負担金等	622	負担金補助及び交付金	研修負担金等	570		
その他	報償費、公課費	80	その他	報償費、公課費	70		
合計(A)			6,518	合計(B)			5,664

予算増減(B)-(A)	-854	主な理由	使用料及び賃借料の減
--------------------	------	-------------	------------

令和3年度 予算事業説明シート

事務事業名	環境基本計画推進事業	新規/継続	継続事業	事務事業の総点検の整理番号	0132401000-002			
		予算所管課	市民生活局環境室環境総務課					
		連絡先	(078)918-5029					
関連予算科目	会計	一般会計	事業所管課					
	款	衛生費	連絡先					
	項	保健衛生費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 22 年度		
	目	環境衛生費	根拠法令・要綱等	環境基本法、環境教育等促進法、地球温暖化対策の推進に関する法律、生物多様性基本法、兵庫県環境の保全と創造に関する条例、明石市の環境の保全と創造に関する基本条例、あかしの生態系を守る条例				
	事業	環境基本計画推進事業		実施方法	直営	○	補助・助成	○
施策分野	4 生活・環境分野 4-3 環境の保全と創造		委託	○	指定管理			
個別計画	環境基本計画							

事業の目的
目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）
 明石市内の市民、事業者及び市職員が、よりよい環境を保全、創造していくために必要な取り組みを推進することにより、自然環境を保全し回復させ、生活環境を守り育てるとともに地球環境への影響を最小限に抑える。併せて、必要な環境教育・啓発及び人材育成を行う。

成果指標

指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
庁内におけるエネルギー使用量の削減	環境マネジメントシステムによる環境施策の推進や省エネの促進、エコオフィス活動によるエネルギー使用量の削減	令和3年度	kl	原油換算で前年度比1%減
アカミガメ防除数及び引取り匹数	緊急対策外来種であるアカミガメの個体数が減少すれば、在来種の保護と生物多様性の保全に繋がる。	令和3年度	匹	1,000匹以上

活動名	活動内容 (〇〇するために、□□に対し、△△する)	活動実績		活動見込み
		01年度	02年度	03年度
環境マネジメントシステムの運用	環境施策及びエコオフィス活動の進捗管理を行うため、各課の環境目標に対し実施計画の進捗を内部環境監査する。	環境マネジメントシステムの運用実施	環境マネジメントシステムの運用実施	環境マネジメントシステムの運用実施
環境レポートの作成	環境基本計画の進捗状況を検証・公表するため、環境レポートを作成し、庁内外に配布する。	環境レポートの作成・配布 400部	環境レポートの作成・配布 400部	環境レポートの作成・配布 400部
エコウイングあかしの事務局運営	エコウイングあかしの事務局として、各種事業をサポートする。	イベント、役員会等の開催・参加 15回	イベント、役員会等の開催・参加 8回	イベント、役員会等の開催・参加 15回
環境審議会・自然環境部会の開催	環境審議会及び自然環境部会の運営を行う。	審議会2回 自然環境部会1回	審議会1回 自然環境部会1回	審議会4回、自然環境部会1回、資源循環推進部会3回
生物多様性あかし戦略推進会議の開催	生物多様性あかし戦略を推進するにあたり、各主体との連携、協働による活動に繋げる。	会議の開催3回	会議の開催1回	会議の開催3回
外来種対策の実施	生物多様性あかし戦略を推進するにあたり、国の生物多様性保全推進支援事業として、外来種であるアカミガメの実態を把握するとともに、防除(捕獲)を行う。	環境省、神戸市と連携による瀬戸川・明石川流域とため池で防除調査実施	環境省、神戸市と連携による瀬戸川・明石川流域とため池で防除調査実施	環境省、神戸市と連携による瀬戸川・明石川流域とため池で防除調査実施
気候変動対策の実施	気候変動を緩和するため、気候非常事態宣言及び地球温暖化対策実行計画に基づき、市役所を含む市域全体の温室効果ガス排出削減に向けた施策を推進する。	カーボン・マネジメント推進のため、市施設のエネルギー使用実態把握	気候非常事態宣言及び地球温暖化対策実行計画に基づく取組の推進	気候非常事態宣言及び地球温暖化対策実行計画に基づく取組の推進

SDGs(17の目標)

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
			○		○	○				○	○	○	○	○		○

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	再任用	ｱﾊﾞｲﾄ	その他
01決算	7,070	30,996	38,066	0	0	0	38,066	正規	3.80	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
02当初予算	27,787	31,590	59,377	9,000	0	532	49,845	再任用	0.00	その他	0.00
03当初予算	25,486	31,590	57,076	9,000	0	382	47,694	任期付	0.30	合計	4.10

区分(節)	内容	金額	区分(節)	内容	金額
報酬	審議会委員報酬	1,263	報酬	審議会委員報酬	830
需用費	消耗品費等、食糧費	537	旅費	会議・研修の出席、審議会委員費用弁償	408
委託料	地域循環共生圏構築に関する検討業務、自然環境調査業務等	16,426	需用費	マイボトル、消耗品費等	823
備品購入費	電気自動車	2,200	委託料	地域循環共生圏構築に関する検討業務、明石市レッドリストガイドブック作成業務等	15,326
負担金補助及び交付金	家庭用燃料電池・蓄電池普及促進補助金、負担金	5,626	負担金補助及び交付金	家庭用燃料電池・蓄電池普及促進補助金、負担金	7,626
その他	報償費、旅費、役務費、公課費、使用料	1,735	その他	報償費、役務費、使用料及び賃借料	473
合計(A)		27,787	合計(B)		25,486

予算増減(B)-(A)	-2,301	主な理由	備品購入費の減
-------------	--------	------	---------

令和3年度 予算事業説明シート

事務事業名	あかし斎場旅立ちの丘管理運営事業	新規/継続	継続事業	<small>事務事業の総点検の整理番号</small>	0132401000-003		
		予算所管課	市民生活局環境室環境総務課				
		連絡先	(078)918-5029				
関連予算科目	会計	葬祭事業	事業所管課				
	款	葬祭事業費	連絡先				
	項	葬祭事業費	自治/法定	自治事務	開始年度	令和2年度	
	目	総務費	根拠法令・要綱等	墓地、埋葬等に関する法律、明石市葬祭事業条例			
	事業	あかし斎場旅立ちの丘管理運営事業					
施策分野	4 生活・環境分野 4-7 斎場・墓園の整備、管理		実施方法	直営	補助・助成	その他	
個別計画	公共施設配置適正化実行計画			委託	指定管理	○	

事業の目的・目標
目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）
 あかし斎場旅立ちの丘（葬祭式場・火葬場）のより一層のサービス向上及び経費節減、適切な設備保全を図り、効率的・効果的な管理運営を行う。

成果指標				
指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
式場利用件数	葬祭式場の利用状況	令和3年度	件	500
火葬件数	火葬場の利用状況	令和3年度	件	3400

事業内容

1 指定管理者による管理運営
 令和2年度から、指定管理者があかし斎場旅立ちの丘の管理運営を行う。
 (1) 指定管理者：富士建設工業・日本管財共同事業体
 （代表）富士建設工業株式会社（構成）日本管財株式会社
 (2) 指定期間：2020年（令和2年）4月1日から2025年（令和7年）3月31日（5年間）
 (3) 利用状況
 ① 式場利用件数
 平成29年度（直営） 478件
 平成30年度（直営） 470件
 令和元年度（直営） 535件
 令和2年度見込 489件
 令和3年度見込 500件
 ② 火葬件数
 平成29年度（直営） 3,139件
 平成30年度（直営） 3,233件
 令和元年度（直営） 3,249件
 令和2年度見込 3,355件
 令和3年度見込 3,400件

2 指定管理業務の指導・監督
 指定管理者の管理運営状況について、指定管理者が定期的に行う事業報告で業務履行確認・評価を行う。
 また、実地調査・ミーティングを合わせて行うことで指定管理業務の指導・監督を徹底する。

SDGs(17の目標)																	
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	
																	○

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	ｱﾊﾞｲﾄ	その他	
01決算	0	0	0	0	0	0	0	正規	3.55	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
02当初予算	317,640	28,755	346,395	0	0	141,080	205,315	再任用	0.00	その他	0.00
03当初予算	355,018	28,755	383,773	0	0	148,275	235,498	任期付	0.00	合計	3.55

令和2年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額	令和3年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	需用費	設備等修繕料	4,000		需用費	設備等修繕料	987
	役務費	建物総合損害共済分担金	67		役務費	建物総合損害共済分担金	66
	委託料	指定管理料等	292,130		委託料	指定管理料等	337,830
	使用料及び賃借料	斎場土地使用料	6,135		使用料及び賃借料	斎場土地使用料	6,135
	備品購入費	AED購入費	308		公課費	消費税及び地方消費税	10,000
	公課費	消費税及び地方消費税	15,000				
	合計(A)				317,640	合計(B)	

予算増減(B)-(A)	37,378	主な理由	委託料(火葬炉設備修繕料)の増
--------------------	--------	-------------	-----------------

令和3年度 予算事業説明シート

事務事業名		長期債元金償還金		新規/継続	継続事業	事務事業の総点検の整理番号	0132401000-004										
				予算所管課	市民生活局環境室環境総務課												
				連絡先	(078)918-5029												
関連 予算 科目	会計	葬祭事業		事業所管課													
	款	公債費		連絡先													
	項	公債費		自治/法定	自治事務	開始年度	平成 19 年度										
	目	元金		根拠法令 ・要綱等	墓地、埋葬等に関する法律、明石市葬祭事業条例												
	事業	長期債元金償還金															
施策分野		4 生活・環境分野		実施方法	直営	○	補助・助成	その他									
個別計画		公共施設配置適正化実行計画			委託		指定管理										
事業 の 目的 ・ 目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか） 「あかし斎場旅立ちの丘」の全面的な建替えに要した市債の償還金元金の支払いを行う。																
	成果指標																
	指標名	考え方・定義・式					目標年次	単位	目標値								
	償還金残高	償還金の残高					令和14年度	千円	0								
事業 内容	市債償還金の元金の支払い																
	年度	償還額															
	平成30年度決算	182,333千円															
	令和元年度決算	182,333千円															
	令和2年度見込	157,064千円															
令和3年度見込	145,954千円																
SDGs(17の目標)																	
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	
																	○
事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)									
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	0.00	アパ'仆	0.00						
01決算	182,333	0	182,333	0	0	63,353	118,980										
02当初予算	157,064	0	157,064	0	0	0	157,064	再任用	0.00	その他	0.00						
03当初予算	145,954	0	145,954	0	0	0	145,954	任期付	0.00	合計	0.00						
令和2 年度 当初 予算 事業 費 明細	区分(節)	内容		金額		令和3 年度 当初 予算 事業 費 明細	区分(節)	内容		金額							
		償還金利子及び割引料		157,064				償還金利子及び割引料		145,954							
	合計(A)		157,064			合計(B)		145,954									
予算増減 (B)-(A)	-11,110		主な理由	償還金元金の減													

令和3年度 予算事業説明シート

事務事業名	長期債利子	新規/継続	継続事業	事務事業の総点検の整理番号 0132401000-005				
		予算所管課	市民生活局環境室環境総務課					
		連絡先	(078)918-5029					
関連 予算 科目	会計	葬祭事業	事業所管課					
	款	公債費	連絡先					
	項	公債費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成19年度		
	目	利子	根拠法令 ・要綱等	墓地、埋葬等に関する法律、明石市葬祭事業条例				
	事業	長期債利子						
施策分野	4生活・環境分野 4-7 斎場・墓園の整備、管理		実施方法	直営	○	補助・助成		その他
個別計画	公共施設配置適正化実行計画			委託		指定管理		

事業の目的・目標
 目的(誰を・何を、どういう状態にしたいのか)
 「あかし斎場旅立ちの丘」の全面的な建替えに要した市債償還金の利子の支払いを行う。

成果指標				
指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
利子の支払い	償還金利子の支払い	令和14年度	千円	0

事業内容	市債償還金の利子の支払い	
	年度	償還額
	平成30年度決算	19,019千円
	令和元年度決算	16,817千円
	令和2年度見込	14,615千円
	令和3年度見込	12,640千円

SDGs(17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
																○

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)		
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	アルバイト	その他
01決算	16,817	0	16,817	0	0	0	16,817	0.00	0.00	0.00
02当初予算	14,615	0	14,615	0	0	0	14,615	0.00	0.00	0.00
03当初予算	12,640	0	12,640	0	0	0	12,640	0.00	0.00	0.00

区分(節)	内容	金額	区分(節)	内容	金額
合計(A)			合計(B)		
		14,615			12,640

予算増減 (B)-(A)	-1,975	主な 理由	償還金利子の減
-----------------	--------	----------	---------

令和3年度 予算事業説明シート

事務事業名	予備費	新規/継続	継続事業	<small>事務事業の総点検の整理番号</small>	0132401000-006			
		予算所管課	市民生活局環境室環境総務課					
		連絡先	(078)918-5029					
関連予算科目	会計	葬祭事業	事業所管課					
	款	予備費	連絡先					
	項	予備費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 19 年度		
	目	予備費	根拠法令・要綱等	墓地、埋葬等に関する法律、明石市葬祭事業条例				
	事業	予備費						
施策分野	4 生活・環境分野 4-7 斎場・墓園の整備、管理		実施方法	直営	○	補助・助成	その他	
個別計画	公共施設配置適正化実行計画		委託		指定管理			

事業の目的・目標
目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）
 一定額を予算に計上しておき、必要に応じて予算外又は予算超過の支出に充てる。

成果指標

指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
-	-	-	-	-

年度途中における災害等不測の事態により予算の不足が生じ、補正予算の計上や流用ができない場合、予備費から充用して事業の執行を行う。

【予算計上と執行の状況】

	予算計上	決算
平成30年度決算	500千円	0
令和元年度決算	500千円	0
令和2年度見込	500千円	0
令和3年度見込	500千円	0

SDGs(17の目標)

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
																○

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	ｱﾊﾞｲﾄ	その他	
01決算	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0.00
02当初予算	500	0	500	0	0	0	500	再任用	0.00	0.00	0.00
03当初予算	500	0	500	0	0	0	500	任期付	0.00	0.00	0.00
									合計	0.00	0.00

区分(節)	内容	金額		区分(節)	内容	金額
	合計(A)	500		合計(B)	500	

予算増減 (B)-(A)	0	主な理由	
-----------------	---	------	--

令和3年度 予算事業説明シート

事務事業名	環境美化推進事業	新規/継続	継続事業	事務事業の総点検の整理番号	0132402000-001			
		予算所管課	市民生活局環境室環境保全課					
		連絡先	(078)918-5030					
関連予算科目	会計	一般会計	事業所管課					
	款	衛生費	連絡先					
	項	保健衛生費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 29 年度		
	目	環境衛生費	根拠法令・要綱等	明石市の環境の保全及び創造に関する基本条例、明石市空き缶等の散乱及びふん害防止に関する条例、アダプトプログラム実施要綱				
	事業	環境美化推進事業						
施策分野	4 生活・環境分野	実施方法	直営	○	補助・助成	○	その他	
	4-3 環境の保全と創造		委託	○	指定管理			
個別計画								

事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）				
	市民や企業・団体等の美化活動を支援するとともに、市民の環境美化意識の高揚を促す様々な施策を講じることにより、良好な生活空間の確保に努める。				
	成果指標				
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
	駅前アダプト協力団体数	事業所・地域団体等に対し、アダプトプログラムについての理解を深めて頂くための啓発活動を充実させ、協力団体数の増加を目指す。	令和3年度	団体	10
空き地等の相談件数	適正に管理されていない空き地の所有者等に対する指導を充実させることにより、相談件数の削減を目指す。	令和3年度	件	60	
事業内容	①「たばこを吸う人にとっても、吸わない人にとっても安全で快適な駅前環境」の実現を目指し、喫煙者のマナーアップを図るなど、歩きたばこと吸い殻のポイ捨て対策を実施し、駅周辺の環境美化に取り組む。 【喫煙所設置状況】 (H25: 明石駅3ヶ所、H27: JR西明石駅2ヶ所、H28: JR大久保駅2ヶ所、H29: JR魚住駅1ヶ所、H30: JR朝霧駅1ヶ所設置、R2: 各駅1か所に喫煙所を統合) 【散乱防止重点区域内のパトロール】 (R1: パトロール391回/声掛け注意326件、R2: パトロール480回/声掛け注意1,500件見込)				
	②ポイ捨てやふん害に関する相談を受け、現地パトロールの実施や啓発看板の設置等を行う。 【相談件数】 (R1: 59件、R2: 60件見込)				
	③適正に管理されていない空き地等に関する相談を受け、所有者等に対し改善指導を行うと共に、パトロールを実施し管理不良物件の発生を抑制する。 【指導件数】 (R1: 102件、R2: 70件見込)				
	④市民や企業、団体等による美化活動を支援する。 ・まち美化プロジェクト(アダプトプログラムによる駅前清掃の実施)の推進 (R1: 9団体、R2: 11団体見込、R3: 10団体目標) ・環境美化団体による清掃活動の実施 (R1: 6団体(1団体休止)、R2: 6団体(1団体休止)、R3: 6団体(1団体休止)見込)				
	SDGs(17の目標)				

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
		○								○						

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	1/2交代	再任用	その他
01決算	14,370	16,565	30,935	0	0	0	30,935	正規	1.10	1/2交代	0.00
02当初予算	15,475	17,010	32,485	0	0	0	32,485	再任用	0.00	その他	0.00
03当初予算	15,894	17,010	32,904	0	0	0	32,904	任期付	3.00	合計	4.10

令和2年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額	令和3年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	報償費	美化活動団体に対する報奨金	350		報償費	美化活動団体に対する報奨金	300
	需用費	美化活動団体へ配布する清掃用具等	794		需用費	美化活動団体へ配布する清掃用具等	694
	委託料	重点区域美化推進業務 明石駅周辺歩道等清掃業務	14,331		委託料	重点区域美化推進業務 明石駅周辺歩道等清掃業務	14,900
	合計(A)				15,475	合計(B)	

予算増減 (B)-(A)	419	主な理由	駅周辺のごみ散乱防止対策強化に伴う重点区域美化推進業務委託料等の増
-----------------	-----	------	-----------------------------------

令和3年度 予算事業説明シート

事務事業名	環境保全啓発事業	新規/継続	継続事業	事務事業の総点検の整理番号	0132402000-002	
		予算所管課	市民生活局環境室環境保全課			
		連絡先	(078)918-5030			
関連予算科目	会計	一般会計	事業所管課			
	款	衛生費	連絡先			
	項	保健衛生費	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 46 年度
	目	環境衛生費	根拠法令・要綱等	環境基本法、大気汚染防止法、水質汚濁防止法、瀬戸内海環境保全特別措置法、ダイオキシン類対策特別措置法、特定工場における公害防止組織の整備に関する法律、騒音規制法、振動規制法、悪臭防止法、環境の保全と創造に関する条例		
	事業	環境保全啓発事業				
施策分野	4 生活・環境分野 4-3 環境の保全と創造	実施方法	直営	○	補助・助成	その他
個別計画	環境基本計画	委託		指定管理		

事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）				
	・市民及び事業者に対し、明石市の環境の現況、環境保全の重要性、環境に配慮した取り組み等について周知するとともに、事業者に対し環境保全の意識を高め、公害の未然防止を図る。 ・公害規制、苦情処理、環境測定等に関する各種研修に参加して、職員の能力向上を図り、公害規制全般について適切に対応する。				
	成果指標				
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
	環境学習資料貸出しの件数	市民の環境保全意識を把握する上で必要な指標となる。	令和3年度	件	18
工場・事業所が発生源である公害苦情件数	工場・事業所に対し環境保全意識の向上を促すことで、公害苦情の発生件数を減少させる。	令和3年度	件	0	
事業内容	①市民・事業者・行政による環境保全協議会（明石市環境保全協議会（R1:1回開催、R2:1回開催予定、R3:1回開催予定）、南二見東新島環境保全協議会（H30:1回開催、R1:1回開催、R2:1回開催予定、R3:1回開催予定） ②環境学習支援制度として、出前講座（R1:3回開催、R2:開催なし）及び環境学習資料の提供（R1:5件、R2:7件見込） ③自動車公害防止に関する意識向上のため、啓発用横断幕の設置、広報紙による周知等 ④「明石市環境の現況」の公表 ⑤近畿大気汚染常時監視連絡会（R1:2回参加、R2:1回参加、R3:2回参加予定）、騒音・振動連絡会（R1:2回参加、R2:2回参加予定、R3:2回参加予定）、自治体の主催する公害関係会議への出席 ⑥環境省等が主催する研修会の参加（R1:8回参加、R2:参加なし見込） ⑦明石市環境保全協議会及び南二見東新島環境保全協議会の負担金の支払い ⑧公用車の維持管理 ⑨課の庶務に関すること				
	SDGs(17の目標)				
	①	②	③	④	⑤
	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳

○								○										

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)		
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	ｱﾊﾞｲﾄ	その他
01決算	2,826	10,745	13,571	0	0	0	13,571	0.20	0.00	0.00
02当初予算	2,014	3,510	5,524	0	0	0	5,524	0.00	0.00	0.00
03当初予算	2,024	3,510	5,534	0	0	0	5,534	0.70	0.00	0.90

区分(節)	内容	金額		区分(節)	内容	金額	
							令和2年度当初予算事業費明細
旅費	研修、会議参加等近接旅費	150		旅費	研修、会議参加等近接旅費	150	
需用費	啓発用資材 公用車維持費等	1,561		需用費	啓発用資材 公用車維持費等	1,540	
役務費	啓発用横断幕取付け手数料 公用車自賠責保険等	121		役務費	啓発用横断幕取付け手数料 公用車自賠責保険等	158	
使用料及び賃借料	コピー機使用料	116		使用料及び賃借料	コピー機使用料	95	
負担金補助及び交付金	環境保全協議会年会費	59		負担金補助及び交付金	環境保全協議会年会費	59	
公課費	公用車重量税	7		公課費	公用車重量税	22	
合計(A)			2,014	合計(B)			2,024

予算増減 (B)-(A)	10	主な理由	役務費の増
-----------------	----	------	-------

令和3年度 予算事業説明シート

事務事業名	大気保全・悪臭対策事業	新規/継続	継続事業	事務事業の総点検の整理番号	0132402000-003	
		予算所管課	市民生活局環境室環境保全課			
		連絡先	(078)918-5030			
関連予算科目	会計	一般会計	事業所管課			
	款	衛生費	連絡先			
	項	保健衛生費	自治/法定	自治+法定	開始年度	昭和 46 年度
	目	公害対策費	根拠法令・要綱等	環境基本法、大気汚染防止法、ダイオキシン類対策特別措置法、悪臭防止法、環境の保全と創造に関する条例、特定工場における公害防止組織の整備に関する法律		
	事業	大気保全・悪臭対策事業		実施方法	直営 <input type="radio"/>	補助・助成 <input type="radio"/>
個別計画	環境基本計画	委託 <input type="radio"/>	指定管理 <input type="radio"/>			

事業の目的・目標
目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）
 大気汚染防止法・悪臭防止法の対象事業所等を適切に指導することにより、大気汚染等による環境影響の削減を図り、市民の健康を保護するとともに生活環境を保全する。

成果指標				
指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
幹線道路沿道における大気環境基準達成率	自動車排ガス測定局にて大気環境の常時監視を行い、道路沿道の良好な環境を維持する。(環境基準適合日数/有効測定日数×100)	令和3年度	%	100
大気汚染常時監視の測定値有効率	大気常時監視包括業務の適切な委託管理により高精度の測定を維持し、より多くの有効な測定値(1時間値)を確保する。 (有効測定時間/(自動測定機台数×365日×24時間)×100)	令和3年度	%	95

事業内容

①大気汚染防止法に基づき、市内の大気汚染状況について、自動測定機による常時監視及び大気監視システムを用いたWebサイトによる常時公表を実施
 ②市内大気環境調査 有害大気汚染物質(H30:1地点・各12回、R1:1地点・各12回、R2:1地点・各12回実施予定)、ダイオキシン類(R1:2地点・各2回、R2:2地点・各2回、R3:2地点・各2回実施予定)、アスベスト(R1:7地点・各1回、R2:7地点・各1回、R3:7地点・各1回実施予定)
 ③微小粒子状物質(PM2.5)の成分分析(R1:1地点・各4回、R2:1地点・各4回、R2:1地点・各4回実施予定)
 ④光化学スモッグ及びPM2.5発生に関する関係機関への周知等(R1:事前周知1回、注意報等発令2回、R2:事前周知1回、注意報等発令0回、R3:事前周知1回予定)
 ⑤大気汚染防止法、ダイオキシン類対策特別措置法、特定工場における公害防止組織の整備に関する法律及び環境の保全と創造に関する条例に基づく大気汚染発生施設に係る届出(相談、指導、受理及び審査)業務(R1:97件、R2:90件見込)
 ⑥大気汚染防止法及び環境の保全と創造に関する条例に基づく届出事業所及び環境保全協定締結事業所への立入検査(R1:6件、R2:5件見込、R3:5件予定)
 ⑦アスベストにかかる大気汚染防止法及び環境の保全と創造に関する条例に基づく届出(相談、指導、受理及び審査)業務(R1:131件、R2:115件見込)
 ⑧解体・改修作業現場等におけるアスベスト調査(R1:9件、R2:18件見込)
 ⑨大気・悪臭に関する市民からの苦情相談の受付、原因調査及び発生源に対する指導(R1:63件うち重要件数42件、R2:75件うち重要件数60件見込)
 ⑩空間放射線量の測定及び公表、測定機器の維持管理(R1:12地点・年3回、R2:12地点・年4回実施見込、R3:12地点・年4回実施予定)

SDGs(17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
		○									○					

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	非常勤	その他	
01決算	28,725	16,495	45,220	1,740	0	0	43,480	正規	1.55	非常勤	0.00
02当初予算	27,481	14,355	41,836	1,606	0	0	40,230	再任用	0.50	その他	0.00
03当初予算	26,883	14,355	41,238	1,305	0	0	39,933	任期付	0.00	合計	2.05

令和2年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額	令和3年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額		
	旅費	研修参加等旅費	125		旅費	研修参加等旅費	93		
需用費	大気常時監視測定機用消耗品 大気常時監視測定機器修繕料	1,366	需用費	大気常時監視測定局維持管理消耗品 大気常時監視測定局施設等修理代	640				
役務費	大気監視システム通信料 放射線測定器校正料	654	役務費	放射線測定器校正料	204				
委託料	大気常時監視局測定装置保守 点検業務等	21,707	委託料	大気常時監視包括業務等	25,895				
使用料及び賃借料	大気監視システム使用料 政令市会議室使用料	3,576	使用料及び賃借料	政令市会議室使用料	10				
負担金補助及び交付金	連絡協議会等負担金	53	負担金補助及び交付金	連絡協議会等負担金	41				
合計(A)				27,481	合計(B)				26,883

予算増減(B)-(A)	-598	主な理由	大気汚染状況の常時監視業務の見直しによる減
-------------	------	------	-----------------------

令和3年度 予算事業説明シート

事務事業名	水質保全対策事業	新規/継続	継続事業	事務事業の総点検の整理番号	0132402000-004	
		予算所管課	市民生活局環境室環境保全課			
		連絡先	(078)918-5030			
関連予算科目	会計	一般会計	事業所管課			
	款	衛生費	連絡先			
	項	保健衛生費	自治/法定	自治+法定	開始年度	昭和 46 年度
	目	公害対策費	根拠法令・要綱等	環境基本法、水質汚濁防止法、土壌汚染対策法、瀬戸内海環境保全特別措置法、ダイオキシン類対策特別措置法、特定工場における公害防止組織の整備に関する法律、環境の保全と創造に関する条例、明石市の環境の保全及び創造に関する基本条例		
	事業	水質保全対策事業				
施策分野	4 生活・環境分野	実施方法	直営	<input type="radio"/>	補助・助成	
	4-3 環境の保全と創造		委託	<input type="radio"/>	指定管理	
個別計画	環境基本計画					

目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）
 水質汚濁防止法・土壌汚染対策法等の対象事業所や市民が公共用水域に与える汚濁等の影響を削減し、公共用水域の水質の保全を図ることで市民の健康を保護するとともに生活環境を保全する。

成果指標					
指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値	
規制基準超過率 (数値が低いと良)	法対象事業所への立入(調査・指導)により排水基準遵守の徹底を図り、環境への影響を未然防止する。 (延べ排水基準超過事業所数 / 延べ排水検査事業所数 × 100)	令和3年度	%	0	
河川の水質環境基準適合率 (数値が高いと良)	法令に基づく立入検査を行う際に、事業者に対し環境保全意識の向上を促し、公害の未然防止を図る。 (環境基準適合数 / 測定項目数)	令和3年度	%	100	

事業内容

①主要河川(R1:5地点・各12回、R2:5地点・各12回、R3:5地点・各12回予定)及び地下水(R1:14地点・各1~2回、R2:12地点・各1~2回、R3:12地点・各1~2回予定)の水質汚濁状況の常時監視、その調査内容の国への報告、公表(河川の水質環境基準適合率 R1:100%、R2:100%、R3:100%目標)

②海水浴場(R1:2水浴場・各8回、R2:2水浴場・各8回、R3:2水浴場・各8回予定)の水質調査及び調査内容の公表

③水質汚濁防止法、ダイオキシン類対策特別措置法、特定工場における公害防止組織の整備に関する法律及び環境の保全と創造に関する条例に基づく水質汚濁発生施設にかかる届出(相談、指導、受理及び審査)業務(R1:107件、R2:60件見込)

④前項法令に基づく届出事業所及び環境保全協定締結事業所への立入検査(規制基準超過率 R1:0%、R2:0%見込、R3:0%目標)

⑤水質汚濁防止法に基づく排水基準が適用されない届出事業所への立入検査(R1:22件、R2:25件見込、R3:10件予定)

⑥土壌汚染対策法に基づく許可申請にかかる手数料の徴収及び届出(相談、指導、受理、審査)業務(R1:103件、R2:100件見込)

⑦土壌汚染対策法に基づく現地確認調査(R1:4件、R2:7件見込)

⑧土壌汚染対策法に関する不動産照会回答業務(R1:84件、R2:100件見込)

⑨神戸市・明石市環境部局間定期情報連絡会議に関する調査及び調整(R1:2回開催、R2:2回開催、R3:2回開催予定)

⑩大阪湾環境保全協議会への参画及び分担金の負担(R1:1回参加、R2:3回参加見込、R3:3回参加予定)

⑪ひょうご環境保全連絡会への参画及び会費の負担(R1:6回参加、R2:6回参加見込、R3:6回参加予定)

⑫明石市の環境の保全及び創造に関する基本条例に基づく地下水の保全に関する届出(相談、指導、受理及び審査)業務(R1:4件、R2:1件見込)

⑬水質汚濁に関する市民からの苦情相談の受付、水質調査及び発生源に対する指導(R1:14件うち重要件数8件、R2:3件うち重要件数2件見込)

⑭瀬戸内海環境保全特別措置法に基づく許可申請及び届出(相談、指導、受理及び審査)業務(R1:64件、R2:20件見込)

⑮瀬戸内海環境保全知事・市長会議及び瀬戸内海環境保全協会への参画及び会費の負担(R1:7回参加、R2:5回参加見込)

SDGs(17の目標)																
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)
		○			○								○			

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	2.30	7/11/1	0.00
01決算	17,347	19,035	36,382	440	0	0	35,942	正規	2.30	7/11/1	0.00
02当初予算	17,523	18,630	36,153	453	0	0	35,700	再任用	0.00	その他	0.00
03当初予算	17,496	18,630	36,126	371	0	0	35,755	任期付	0.00	合計	2.30

令和2年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額	令和3年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	旅費	研修参加等旅費	146		旅費	研修参加等旅費	139
	需用費	検査用消耗品等	197		需用費	検査用消耗品等	197
	委託料	水質監視分析業務	16,395		委託料	水質監視分析業務	16,395
	使用料及び賃借料	会議室使用料、海水浴場水質調査船借上げ料	190		使用料及び賃借料	会議室使用料、海水浴場水質調査船借上げ料	170
	負担金補助及び交付金	協議会分担金連絡会会費等	595		負担金補助及び交付金	協議会分担金連絡会会費等	595
	合計(A)		17,523		合計(B)		17,496

予算増減(B)-(A)	-27	主な理由	研修参加旅費等の減
--------------------	-----	-------------	-----------

令和3年度 予算事業説明シート

事務事業名	騒音・振動対策事業	新規/継続	継続事業	<small>事務事業の総点検の整理番号</small>	0132402000-005		
		予算所管課	市民生活局環境室環境保全課				
		連絡先	(078)918-5030				
関連予算科目	会計	一般会計	事業所管課				
	款	衛生費	連絡先				
	項	保健衛生費	自治/法定	自治+法定	開始年度	昭和 46 年度	
	目	公害対策費	根拠法令・要綱等	環境基本法、騒音規制法、振動規制法、環境の保全と創造に関する条例、特定工場における公害防止組織の整備に関する法律			
	事業	騒音・振動対策事業					
施策分野	4 生活・環境分野	実施方法	直営	○	補助・助成		その他
	4-3 環境の保全と創造		委託	○	指定管理		
個別計画	環境基本計画						

事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）				
	騒音規制法、振動規制法の対象事業所等を適切に指導することにより、騒音・振動による環境影響の削減を図り、市民の健康を保護するとともに生活環境を保全する。				
	成果指標				
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
	自動車騒音環境基準達成率	幹線道路における自動車騒音の常時監視を行い、道路沿道の良好な環境を維持する。(環境基準達成戸数/評価対象住居等戸数×100)	令和3年度	%	94
建設作業に係る関係法令に基づく届出の未届件数	建設作業等実施時に必要な法に基づく届出について、立入調査実施時等に関係法令を周知し、未届の件数を削減する。	令和3年度	件	0	
事業内容	①騒音規制法、振動規制法及び環境の創造と保全に関する条例に基づく環境に影響を及ぼす施設にかかる届出(相談、指導、受理及び審査)業務(R1:153件、R2:150件見込)				
	②特定建設作業の実施にかかる届出(相談、指導、受理及び審査)業務(R1:1017件、R2:850件見込)				
	③事業所や建設作業現場に対する立入検査(R1:事業所12件・建設作業現場28件、R2:事業所5件・建設作業現場40件見込、R3:事業所10件・建設作業現場30件予定)				
	④自動車騒音常時監視の実施(5ヶ年計画、R1:26路線、R2:26路線実施見込、R3:26路線実施予定)				
	⑤都市環境騒音測定(R1:7地点、R2:7地点実施、R3:7地点実施予定)、新幹線沿線における騒音・振動測定(R1:5地点実施、R2:5地点実施、R3:5地点実施予定)				
⑥東播磨関係市町と連携した新幹線鉄道公害に関する情報交換、及びJR西日本・関係大臣・地元選出国會議員に対する沿線環境保全に関する要望活動					
⑦騒音・振動に関する市民からの苦情相談の受付、原因調査及び発生源に対する指導の実施(R1:52件うち重要件数34件、R2:90件うち重要件数50件見込)					
⑧騒音・振動測定機器の更新、検定及び維持管理					

SDGs(17の目標)																
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)
		○								○						

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	ｱﾊﾞｲﾄ	その他	
01決算	1,942	12,575	14,517	0	0	0	14,517	正規	1.55	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
02当初予算	2,844	14,355	17,199	0	0	0	17,199	再任用	0.50	その他	0.00
03当初予算	2,351	14,355	16,706	0	0	0	16,706	任期付	0.00	合計	2.05

令和2年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額	令和3年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	旅費	研修参加等旅費	50		旅費	研修参加等旅費	50
	需用費	騒音・振動測定機消耗品 騒音・振動測定機修繕料等	220		需用費	騒音・振動測定機消耗品 騒音・振動測定機修繕料等	120
	役務費	騒音・振動測定機検定料	107		委託料	新幹線騒音・振動測定業務 自動車騒音常時監視業務	2,178
	委託料	新幹線騒音・振動測定業務 自動車騒音常時監視業務	2,464		負担金補助及び交付金	研修参加負担金	3
	負担金補助及び交付金	研修参加負担金	3				
	合計(A)				2,844	合計(B)	

予算増減(B)-(A)	-493	主な理由	新幹線騒音・振動測定業務内容を見直し、効率化を図ったことによる委託料の減
--------------------	------	-------------	--------------------------------------

令和3年度 予算事業説明シート

事務事業名	し尿収集処理事業	新規/継続	継続事業	<small>事務事業の総点検の整理番号</small>	0132402000-006		
		予算所管課	市民生活局環境室環境保全課				
		連絡先	(078)918-5030				
関連予算科目	会計	一般会計	事業所管課				
	款	衛生費	連絡先				
	項	清掃費	自治/法定	自治+法定	開始年度	昭和 31 年度	
	目	し尿処理費	根拠法令・要綱等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、明石市廃棄物の処理及び清掃に関する条例、浄化槽法、明石市浄化槽保守点検業者の登録に関する条例			
	事業	し尿収集処理事業					
施策分野	4 生活・環境分野 4-3 環境の保全と創造		実施方法	直営 <input type="radio"/>	補助・助成 <input type="radio"/>	その他 <input type="radio"/>	
個別計画	一般廃棄物処理基本計画		委託 <input type="radio"/>	指定管理 <input type="radio"/>			

目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）
 ・一般家庭や事業所の汲取り便所及び工事現場等に設置する仮設便所から発生するし尿を業者委託により収集し、市民の衛生的な生活環境を保全する。
 ・汲取りし尿及び浄化槽清掃・収集運搬許可業者が収集する浄化槽汚泥を、二見浄化センターへ運搬・投入し、適正かつ効率的な処理を図る。
 ・浄化槽が適正に維持管理されるよう啓発、指導事務を実施する。

成果指標				
指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
収集処理経費	総事業費(参考値)が基準年度(平成28年度)比95%を超えないようにする。	令和3年度	%	95
浄化槽法定検査不適正率(数値が低いと良)	浄化槽の適正な維持管理が可能となるように啓発・指導を実施し、不適正率を下げる。(不適正件数/浄化槽設置基数×100)	令和3年度	%	10

事業内容

①し尿収集運搬業務及び手数料徴収業務等に係る管理事務
 ②全市委託によるし尿の収集運搬
 【し尿収集委託戸数】
 令和元年度当初 770戸
 令和2年度当初 719戸
 令和3年度当初 670戸見込

③一般家庭、事業所等から発生するし尿及び浄化槽汚泥を適正に収集し、下水処理場の二見浄化センターへ運搬し処理する。
 し尿量 : 令和元年度1,455kL、令和2年度1,450kL見込、令和3年度1,450kL予定
 浄化槽汚泥量 : 令和元年度2,093kL、令和2年度2,350kL見込、令和3年度2,350kL予定

④浄化槽の適正管理の指導
 【浄化槽の設置基数】
 令和元年度当初 1,377基、令和2年度当初 1,294基、令和3年度当初 1,240基見込
 【不適正率】
 令和元年度 10.1%(139/1,377×100)、令和2年度 10.4%見込(135/1,294×100)、令和3年度10%目標

⑤浄化槽設置届等の各種届出の受理
 【浄化槽法事務取扱件数】
 令和元年度 1,095件、令和2年度 1,084件見込

SDGs(17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
					○											

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	ｱﾊﾞｲﾄ	その他	
01決算	63,787	13,635	77,422	0	0	23,801	53,621	正規	1.30	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
02当初予算	73,277	14,040	87,317	0	0	27,540	59,777	再任用	0.00	その他	0.00
03当初予算	70,219	14,040	84,259	0	0	25,900	58,359	任期付	1.30	合計	2.60

令和2年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額	令和3年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	需用費	消耗品費、印刷製本費	169		需用費	消耗品費、印刷製本費	132
	役務費	し尿処理券販売手数料等	548		役務費	し尿処理券販売手数料等	420
	委託料	し尿収集運搬業務等	60,734		委託料	し尿収集運搬業務等	58,058
	使用料及び賃借料	会議室使用料	10		負担金補助及び交付金	下水道負担金	11,609
	負担金補助及び交付金	下水道負担金	11,816				
	合計(A)				73,277	合計(B)	

予算増減(B)-(A)	-3,058	主な理由	委託料の減
--------------------	--------	-------------	-------

令和3年度 予算事業説明シート

事務事業名	再資源化推進事業	新規/継続	継続事業	事務事業の総点検の整理番号	0132403000-001			
		予算所管課	市民生活局環境室資源循環課					
		連絡先	(078)918-5794					
関連予算科目	会計	一般会計	事業所管課					
	款	衛生費	連絡先					
	項	保健衛生費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 3 年度		
	目	環境衛生費	根拠法令・要綱等	明石市再生資源集団回収団体助成要綱				
	事業	再資源化推進事業						
施策分野	4 生活・環境分野	実施方法	直営	○	補助・助成	○	その他	
	4-3 環境の保全と創造		委託	○	指定管理			
個別計画	一般廃棄物処理基本計画							

目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）
 ・各家庭から排出される再生資源を集団回収する団体に対して助成金を交付することにより、再生資源化を推進し、ごみの減量化を図るとともに、市民のごみ分別に対する意識を高揚させる。また、集団回収活動を通じて地域住民のコミュニティ活動の振興を図ることを目的とする。また集団回収を補完するために紙類・布類の行政回収を行い再生資源化を更に推進する。

成果指標

指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
集団回収回収量	古紙市況を注視し、ごみ減量推進員・協力員等と連携して分別を更なる確に進めることにより再生資源量の増加、ごみの減量化に努める。	令和3年度	t	5,000
集団回収活動団体数	少子高齢化による団体数の減少に歯止めをかけるよう努め、子ども会、自治会等多くの団体の集団回収活動をできる限り支援する。	令和3年度	団体	405

事業内容

①再生資源集団回収団体への助成金交付
 ア 交付基準 紙類、布類、金属類、びん類の回収量1kg当たり新聞3円、雑誌・雑がみ5円、それ以外4円を助成
 イ 交付回数 年2回（9月、3月）
 ウ 実施経過 平成3年度より1kg3円で実施。平成10年度に1kg5円に改定し、平成19年度に1kg4円に改定。平成26年度、品目別に単価を見直し、新聞3円、雑誌・雑がみ5円、それ以外4円になる。

エ 実績及び助成金交付額
 令和元年度回収実績 5,314t 団体数 412団体 助成金 19,667千円
 令和2年度回収見込 5,408t 団体数 415団体 助成金 20,000千円
 令和3年度回収見込 5,000t 団体数 405団体 助成金 20,000千円

②紙類・布類の行政回収
 ア 実施時期 地域で行われている集団回収を補完するために、平成16年11月より紙類・布類の分別収集を実施している。
 イ 回収実績
 令和元年度実績 収集量 1,806t
 令和2年度見込 収集量 1,850t
 令和3年度見込 収集量 1,950t

③資源ごみ持ち去り行為の禁止に係るパトロールの実施
 ア 実施回数 令和2年度見込 18 回/年
 令和3年度見込 20 回/年

SDGs(17の目標)

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
											○					○

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	2.00	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
01決算	20,403	16,950	37,353	0	0	14,076	23,277	正規	2.00	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
02当初予算	23,375	20,880	44,255	0	0	16,240	28,015	再任用	0.40	その他	0.00
03当初予算	27,272	20,880	48,152	0	0	0	48,152	任期付	1.20	合計	3.60

区分(節)	内容	金額	区分(節)	内容	金額
需用費	業者仕切伝票、持ち去り行為禁止に係る資材	625	報償費	古紙回収業者協力金	4,000
役務費	郵便料	300	需用費	業者仕切伝票、持ち去り行為禁止に係る資材	522
委託料	紙類・布類の分別収集及び再生資源化業務	2,400	役務費	郵便料	300
使用料及び賃借料	研修会会場使用料	50	委託料	紙類・布類の分別収集及び再生資源化業務	2,400
負担金補助及び交付金	集団回収活動助成金	20,000	使用料及び賃借料	研修会会場使用料	50
			負担金補助及び交付金	集団回収活動助成金	20,000
合計(A)			合計(B)		
23,375			27,272		

予算増減 (B)-(A)	3,897	主な理由	古紙回収業者協力金による増
-----------------	-------	------	---------------

令和3年度 予算事業説明シート

事務事業名	ごみ減量化推進事業	新規/継続	継続事業	<small>事務事業の総点検の整理番号</small>	0132403000-002				
		予算所管課	市民生活局環境室資源循環課						
		連絡先	(078)918-5794						
関連予算科目	会計	一般会計	事業所管課						
	款	衛生費	連絡先						
	項	保健衛生費	自治/法定	自治事務	開始年度	不明			
	目	環境衛生費	根拠法令・要綱等	明石市廃棄物の処理及び清掃に関する条例 明石市廃棄物の処理及び清掃に関する条例施行規則 明石市ごみ減量推進員制度実施要領					
	事業	ごみ減量化推進事業							
施策分野	4 生活・環境分野 4-3 環境の保全と創造		実施方法	直営	<input type="radio"/>	補助・助成	<input type="checkbox"/>	その他	<input type="checkbox"/>
個別計画	一般廃棄物処理基本計画			委託	<input type="radio"/>	指定管理	<input type="checkbox"/>		

事業の目的・目標
目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）
 市民、事業者への多様な啓発事業を展開するとともに市民との協働を推進することにより、ごみの減量化、再資源化を図る。

成果指標				
指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
ごみ減量推進協力員	地域のサブリーダーとして、ごみ減量推進員と連携し、市民へのごみ減量意識の浸透を図る。	令和3年度	人	1,100

- 事業内容**
- ①ごみ減量推進員制度により、活動をごみ減量推進員と協働して行う者としてごみ減量推進協力員を設置する。
 ごみ減量推進協力員数
 令和元年度実績 1,312人 令和2年度見込 950人(新型コロナウイルス感染拡大防止のため、自治会内会議等減少による) 令和3年度見込 1,100人
 - ②明石クリーンセンター、リサイクルプラザの見学による、ごみ減量化啓発業務を行う。
 見学者数
 令和元年度実績 3,032人 令和2年度見込 4人 令和3年度見込 0人(新型コロナウイルス感染拡大防止のため受入中止予定)
 - ③明石クリーンセンター常設展示場において粗大ごみで出された不要家具を修繕したりリサイクル家具の有償提供を行う。
 提供実績
 令和元年度実績 91点 令和2年度見込 100点 令和3年度見込 150点
 - ④レジ袋削減協定締結事業者とともに、マイバッグ等の持参を呼びかけ、レジ袋削減に積極的に取り組む。
 協定締結事業者店舗数
 令和元年度実績 47店舗 令和2年度実績 48店舗 令和3年度見込 48店舗
 - ⑤大規模事業所に対する減量計画書等の作成及び提出、一般廃棄物処理許可業者に対し適正処理の推進。
 市内対象事業所
 令和元年度実績 83事業者 令和2年度実績 88事業者 令和3年度見込 88事業者

SDGs(17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
											○					○

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)					
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	ｱﾊﾞｲﾄ	再任用	その他		
01決算	1,319	34,265	35,584	0	0	422	35,162	正規	3.00	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00		
02当初予算	8,321	33,660	41,981	0	0	303	41,678	再任用	1.10	その他	0.00		
03当初予算	5,926	33,660	39,586	0	0	853	38,733	任期付	2.00	合計	6.10		

区分(節)	内容	金額	区分(節)	内容	金額
報償費	ごみ減量推進員活動費、精霊流し廃棄物取りまとめ活動報奨金	1,000	報償費	ごみ減量推進員活動費、精霊流し廃棄物取りまとめ活動報奨金	500
旅費	専門部会打合せ(計画改定)	100	旅費	専門部会打合せ(計画改定)	60
需用費	ごみ減量推進員制度等消耗品、ごみ学習副読本等印刷製本費	1,236	需用費	ごみ減量推進員制度等消耗品、ごみ学習副読本等印刷製本費	1,216
役務費	アンケート調査郵便料(計画改定)	300	委託料	一般廃棄物処理基本計画改定業務	4,000
委託料	一般廃棄物処理基本計画改定業務	5,500	使用料及び賃借料	会議・研修会、意見交換会の会場使用料	150
使用料及び賃借料	会議・研修会、意見交換会の会場使用料	185			
合計(A)			合計(B)		
		8,321			5,926

予算増減(B)-(A)	-2,395	主な理由	委託料の減
--------------------	--------	-------------	-------

令和3年度 予算事業説明シート

事務事業名	食用油・小型家電リサイクル事業	新規/継続	継続事業	<small>事務事業の総点検の整理番号</small>	0132403000-003			
		予算所管課	市民生活局環境室資源循環課					
		連絡先	(078)918-5794					
関連予算科目	会計	一般会計	事業所管課					
	款	衛生費	連絡先					
	項	保健衛生費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 20 年度		
	目	環境衛生費	根拠法令・要綱等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律				
	事業	食用油・小型家電リサイクル事業						
施策分野	4 生活・環境分野 4-3 環境の保全と創造	実施方法	直営	<input type="radio"/>	補助・助成	<input type="checkbox"/>	その他	<input type="checkbox"/>
個別計画	一般廃棄物処理基本計画		委託	<input type="radio"/>	指定管理	<input type="checkbox"/>		

目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）

- ・公共施設、一般家庭の廃食用油を回収しBDFに転化後、その需用による二酸化炭素の削減。
- ・一般家庭から小型家電を回収し、有用金属等の再資源化を図り、最終処分場の延命化に繋げている。
- ・廃食用油と小型家電の拠点回収等を、障害者と職員で行う障害者キャリアアップ事業を展開している。

成果指標

指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
Co2削減量	廃食用油回収量 × 2.62kg	令和3年度	kg	115,280
小型家電リサイクル量	売買取引量	令和3年度	kg	40,000

事業内容

①廃食用油の回収状況(単位 L)
 一般家庭を対象にした廃食用油拠点回収(31ヶ所)を実施(内無人回収拠点7ヶ所)
 令和元年度実績 合計 47,309.7 小学校 19,314.2 保育所 6,629.0 その他 705.3 一般家庭 13,517.3 中学校 7,143.9
 令和2年度見込 合計 43,754.0 小学校 16,848.1 保育所 6,714.3 その他 665.9 一般家庭 13,657.3 中学校 5,868.4
 令和3年度見込 合計 44,000.0

②回収してきた廃食用油を売却(BDF燃料精製業者) ③BDF燃料の購入
 令和元年度実績 1円/L(税込み) 令和元年度実績 3,730 L・109円/L(税抜き)
 令和2年度実績 1円/L(税込み) 令和2年度見込 8,260 L・109円/L(税抜き)
 令和3年度見込 1円/L(税込み) 令和3年度見込 8,000 L・109円/L(税抜き)

④ごみ収集車及び廃食用油回収車両のBDF使用量(単位 L)
 令和元年度実績 合計 3,726.3 収集事業課 2,217.9 資源循環課 1,508.4
 令和2年度見込 合計 10,660.4 収集事業課 5,222.9 資源循環課 3,351.0 緑化公園課 2,086.5
 令和3年度見込 合計 8,000.0

⑤小型家電の回収状況等
 一般家庭を対象にした小型家電BOX回収(20ヶ所)、拠点回収(12ヶ所)を実施及び明石クリーンセンターへの直接持込での回収実施
 ア)小型家電回収状況 イ)小型家電の売却
 令和元年度実績 40,078kg 令和元年度実績 27.00円/kg
 令和2年度見込 43,000kg(回収BOX 2ヶ所増設) 令和2年度実績 2.20円/kg
 令和3年度見込 40,000kg 令和3年度見込 2.20円/kg

SDGs(17の目標)

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
											○					

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	ｱﾊﾞｲﾄ	その他	
01決算	1,721	27,745	29,466	0	0	1,128	28,338	正規	3.30	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
02当初予算	2,249	31,230	33,479	0	0	857	32,622	再任用	0.50	その他	0.00
03当初予算	1,898	31,230	33,128	0	0	138	32,990	任期付	1.00	合計	4.80

区分(節)	内容	金額	区分(節)	内容	金額
報償費	障害者就労支援技法研修講師謝礼	20	報償費	障害者就労支援技法研修講師謝礼	20
需用費	消耗品費、BDF購入費	1,512	需用費	消耗品費、BDF購入費	1,335
委託料	廃食用油分析業務委託	65	委託料	廃食用油分析業務委託	65
原材料費	廃食用油買取費用	40	原材料費	廃食用油買取費用	36
備品購入費	使用済小型家電回収ボックス	600	備品購入費	使用済小型家電回収ボックス	430
その他	腸内細菌検査費用、軽油引取税	12	その他	腸内細菌検査費用、軽油引取税	12
合計(A)			合計(B)		
		2,249			1,898

予算増減(B)-(A)	-351	主な理由	需用費と備品購入費による減
--------------------	------	-------------	---------------

令和3年度 予算事業説明シート

事務事業名	清掃総務一般事務事業	新規/継続	継続事業	<small>事務事業の総点検の整理番号</small>	0132403000-004				
		予算所管課	市民生活局環境室資源循環課						
		連絡先	(078)918-5790						
関連予算科目	会計	一般会計	事業所管課						
	款	衛生費	連絡先						
	項	清掃費	自治/法定	自治+法定	開始年度	昭和 42 年度			
	目	清掃総務費	根拠法令・要綱等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、明石市廃棄物の処理及び清掃に関する条例					
	事業	清掃総務一般事務事業							
施策分野	4 生活・環境分野 4-3 環境の保全と創造		実施方法	直営	<input type="radio"/>	補助・助成	<input type="checkbox"/>	その他	<input type="checkbox"/>
個別計画	一般廃棄物処理基本計画			委託	<input type="radio"/>	指定管理	<input type="checkbox"/>		

事業の目的・目標
目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）
 明石クリーンセンター職員の研修会参加により、適正な廃棄物処理の知識を習得する。
 環境保全管理委員会で周辺自治会委員に各種報告をする。

成果指標

指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
公務災害件数	適正な業務環境の整備により、安全衛生的に業務が遂行され、無災害が保たれる。	令和3年度	件	0

事業内容

- ①環境保全管理委員会
 クリーンセンター周辺の8地区を対象に、環境保全管理委員会を開催。
 令和元年度実績 5回 令和2年度見込み 5回 令和3年度見込み 5回
- ②各種講習会、研修会への参加
 廃棄物処理に係る資格取得等のため、講習会、研修会に参加。
 令和元年度実績 11回 令和2年度見込み 7回 令和3年度見込み 11回
- ③各種年会費及び負担金
 廃棄物処理関係の研修の負担金
 関西電気協会、兵庫県フロン回収・処理推進協議会への年会費。
- ④その他、消耗品、備品購入
 職員の被服購入や施設の備品購入を行う。

SDGs(17の目標)

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
										○						

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	ｱﾊﾞｲﾄ	その他	
01決算	3,801	17,955	21,756	0	0	645	21,111	正規	1.05	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
02当初予算	4,499	10,665	15,164	0	0	817	14,347	再任用	0.00	その他	0.00
03当初予算	3,926	10,665	14,591	0	0	770	13,821	任期付	0.80	合計	1.85

区分(節)	内容	金額	区分(節)	内容	金額
旅費	近接旅費、講習・研修会旅費	900	旅費	近接旅費、講習・研修会旅費	660
需用費	消耗品費、修繕料、食糧費	2,017	需用費	消耗品費、修繕料、食糧費	1,943
使用料及び賃借料	コピー使用料等	600	使用料及び賃借料	コピー使用料等	550
負担金補助及び交付金	各種年会費、講習等受講料	733	負担金補助及び交付金	各種年会費、講習等受講料	549
その他	役務費(電話料金、手数料)、備品購入費	249	その他	役務費(電話料金、手数料)、備品購入費	224
合計(A)		4,499	合計(B)		3,926

予算増減(B)-(A)	-573	主な理由	旅費・消耗品費等の見直しによる減
--------------------	------	-------------	------------------

令和3年度 予算事業説明シート

事務事業名	廃棄物処理事業	新規/継続	継続事業	事務事業の総点検の整理番号	0132403000-005				
		予算所管課	市民生活局環境室資源循環課						
		連絡先	(078)918-5790						
関連予算科目	会計	一般会計	事業所管課						
	款	衛生費	連絡先						
	項	清掃費	自治/法定	自治事務	開始年度	不明			
	目	ごみ処理費	根拠法令・要綱等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、明石市廃棄物の処理及び清掃に関する条例					
	事業	廃棄物処理事業							
施策分野	4 生活・環境分野 4-3 環境の保全と創造		実施方法	直営	○	補助・助成		その他	
個別計画	一般廃棄物処理基本計画			委託	○	指定管理			

事業の目的・目標
目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）
 搬入廃棄物及び埋立対象廃棄物の適正処理・処理不適物の搬入防止・焼却灰のセメント原料化及び、最終処分場における適正な埋め立て処理を行うとともに、最終処分場の適切な維持管理を行う。

成果指標				
指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
計画埋立率	第3次最終処分場建設時の計画埋立率 (計画埋立量÷最終処分場容積)	令和3年度	%	80
実埋立率	第3次最終処分場供用開始後の実埋立率 (実埋立量÷最終処分場容積)	令和3年度	%	43

事業内容

①廃棄物について搬入段階での可燃・不燃ごみの分別状況及び不適物の検査を行い、焼却施設や破砕選別施設への処理不適物の搬入を防止する。
 ②最終処分場の適正な維持管理及び延命化の推進を行う。
 埋立率: 累積埋立量/最終処分場容積 *100%
 令和元年度実績 計画時埋立率 68.97% 実埋立率 37.31%
 令和2年度見込み 計画時埋立率 74.24% 実埋立率 40.41%
 令和3年度見込み 計画時埋立率 79.50% 実埋立率 43.43%
 (平成19年度供用開始 第3次最終処分場残余容量 320,296㎡(令和2年3月末現在))
 (昭和59年度供用開始 第2次最終処分場残余容量 64,806㎡(令和2年3月末現在))
 ・包括管理業務(5ヶ年事業4年目)
 ③搬入廃棄物検査による不適物の搬入防止や、搬入廃棄物から分離される焼却鉄、破砕鉄、ガラスカレットの資源化により、最終処分量の削減を目標とする。
 ④明石クリーンセンターで発生する焼却灰をセメント原料とすることで、最終処分場の延命化と資源化率向上を目標とする。

SDGs(17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
										○	○					

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	再任用	ｱﾊﾞｲﾄ	その他
01決算	129,671	82,330	212,001	0	0	5,016	206,985	正規	8.93	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
02当初予算	139,357	84,033	223,390	0	14,000	5,503	203,887	再任用	1.00	その他	0.00
03当初予算	128,853	84,033	212,886	0	8,800	5,507	198,579	任期付	3.00	合計	12.93

令和2年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額	令和3年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	需用費	修繕料、消耗品等	16,730		需用費	修繕料、消耗品等	16,302
	役務費	自動車損害保険料等	1,006		役務費	自動車損害保険料等	1,008
	委託料	最終処分場包括管理業務、搬入廃棄物検査業務等	110,230		委託料	最終処分場包括管理業務、搬入廃棄物検査業務等	105,054
	使用料及び賃借料	シヨベルローダー等賃借料、自己搬入受付システムリース料	2,879		使用料及び賃借料	シヨベルローダー等賃借料、自己搬入受付システムリース料	2,866
	公課費	自動車重量税	512		工事請負費	第3次最終処分場調整ポンプ等保全工事	1,800
	工事請負費	第3次最終処分場取水ポンプ保全工事	8,000		その他	公課費および備品購入費	1,823
	合計(A)				139,357	合計(B)	

予算増減(B)-(A)	-10,504	主な理由	工事請負費の減
-------------	---------	------	---------

令和3年度 予算事業説明シート

事務事業名	焼却施設運営事業	新規/継続	継続事業	事務事業の総点検の整理番号	0132403000-006	
		予算所管課	市民生活局環境室資源循環課			
		連絡先	(078)918-5790			
関連予算科目	会計	一般会計	事業所管課			
	款	衛生費	連絡先			
	項	清掃費	自治/法定	自治事務	開始年度	不明
	目	ごみ処理費	根拠法令・要綱等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、明石市廃棄物の処理及び清掃に関する条例		
	事業	焼却施設運営事業		実施方法	直営 <input type="radio"/>	補助・助成 <input type="radio"/>
施策分野	4 生活・環境分野		委託 <input type="radio"/>	指定管理 <input type="radio"/>		
個別計画	一般廃棄物処理基本計画					

事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）				
	焼却処理の対象となる廃棄物・収集及び自己搬入等で施設へ搬入された可燃ごみを焼却することにより減量を図るとともに、そのエネルギーを利用して発電を行う。併せて焼却施設の適正な維持管理を行う。				
	成果指標				
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
	減量率	焼却によって発生する焼却灰(t) ÷ 可燃ごみ焼却量(t)	令和3年度	%	15
発電量	焼却によって発生する電力量(kWh) ÷ 可燃ごみ焼却量(t)	令和3年度	kWh/t	445	
事業内容	①市内より搬入された可燃ごみ、破砕選別施設から搬送される可燃ごみを焼却炉で焼却(24時間連続運転)することで減量を図る。 減量率: 焼却灰/ごみ焼却量 *100% 令和元年度実績 15.80% 令和2年度見込み 15.27% 令和3年度見込み 15.27%				
	②焼却により発生する熱エネルギーを蒸気に変換して発電を行い、余剰電力を売却する。 発電量: 電力量/ごみ焼却量 売却額 令和元年度実績 435 kWh/t 令和元年度実績 157,759千円 令和2年度見込み 445 kWh/t 令和2年度見込み 172,993千円 令和3年度見込み 445 kWh/t 令和3年度見込み 172,993千円				
	③焼却廃棄物に混入される金属類(焼却鉄)を売却する。 売却額 令和元年度実績 33千円 令和2年度見込み 35千円 令和3年度見込み 36千円				
	④焼却施設(平成11年4月稼働開始)の適正な維持管理(令和3年度) ・令和2年度プラント設備保全工事(2か年工事の2年目) ・令和3年度プラント設備保全工事(2か年工事の1年目) ・包括管理業務(5か年事業3年目)				
	SDGs(17の目標)				

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
						○				○	○	○				

事業のコスト(単位:千円)	事業費	人件費(参考値)	総事業費(参考値)	財源内訳				令和2年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	1/2/3/4/5/6/7/8/9/10/11/12/13/14/15/16/17/18/19/20	再任用	その他
01決算	1,270,995	14,175	1,285,170	0	507,400	391,758	386,012	正規	1.03	7/18/19	0.00
02当初予算	1,399,576	8,343	1,407,919	0	644,900	418,159	344,860	再任用	0.00	その他	0.00
03当初予算	1,550,434	8,343	1,558,777	0	809,000	406,108	343,669	任期付	0.00	合計	1.03

令和2年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額	令和3年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	需用費	消耗品費、燃料費	13,607		需用費	消耗品費	515
	委託料	焼却施設等包括管理事業	739,283		委託料	焼却施設等包括管理事業	739,283
	工事請負費	プラント設備保全工事(2か年) 焼却施設等包括管理事業	644,959		工事請負費	プラント設備保全工事(2か年) 焼却施設等包括管理事業	809,087
	備品購入費	備品購入費	224		備品購入費	備品購入費	112
	公課費	汚染負荷量賦課金	1,503		公課費	汚染負荷量賦課金	1,437
	合計(A)				1,399,576	合計(B)	

予算増減(B)-(A)	150,858	主な理由	工事請負費の増
-------------	---------	------	---------

令和3年度 予算事業説明シート

事務事業名	廃棄物広域処理事業	新規/継続	継続事業	事務事業の総点検の整理番号	0132403000-007	
		予算所管課	市民生活局環境室資源循環課			
		連絡先	(078)918-5790			
関連予算科目	会計	一般会計	事業所管課			
	款	衛生費	連絡先			
	項	清掃費	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 57 年度
	目	ごみ処理費	根拠法令・要綱等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、広域臨海環境整備センター法		
	事業	廃棄物広域処理事業				
施策分野	4 生活・環境分野 4-3 環境の保全と創造		実施方法	直営	補助・助成	その他
個別計画	一般廃棄物処理基本計画		委託	○	指定管理	

事業の目的・目標
目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）
 明石クリーンセンター焼却施設より発生する焼却灰について広域臨海環境整備センター法に基づき、大阪湾圏域における廃棄物の広域処理（通称：大阪湾フェニックス事業）を推進するとともに、生活環境の保全を図る。

成果指標				
指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
処分量	大阪湾広域廃棄物埋立処分場での焼却灰等の処分量を指標とする。	令和3年度	トン	4,100

事業内容

①焼却灰等処分業務委託
 令和元年度実績 4,083t
 令和2年度見込み 4,100t
 令和3年度見込み 4,100t

②大阪湾広域廃棄物埋立処分場整備事業建設委託
 埋立処分場建設に係る費用の本市負担分

SDGs(17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
										○	○					

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	ｱﾊﾞｲﾄ	その他	
01決算	50,348	3,645	53,993	0	2,900	0	51,093	正規	0.23	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
02当初予算	50,818	1,863	52,681	0	1,600	0	51,081	再任用	0.00	その他	0.00
03当初予算	49,628	1,863	51,491	0	0	0	51,491	任期付	0.00	合計	0.23

令和2年度 当初予算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額	令和3年度 当初予算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額
	委託料	焼却灰等処分業務、埋立処分場整備事業建設委託	50,818		委託料	焼却灰等処分業務、埋立処分場整備事業建設委託	49,628
	合計(A)		50,818		合計(B)		49,628

予算増減 (B)-(A)	-1,190	主な理由	委託料の減
-----------------	--------	------	-------

令和3年度 予算事業説明シート

事務事業名	破砕選別施設運営事業	新規/継続	継続事業	<small>事務事業の総点検の整理番号</small>	0132403000-008				
		予算所管課	市民生活局環境室資源循環課						
		連絡先	(078)918-5790						
関連予算科目	会計	一般会計	事業所管課						
	款	衛生費	連絡先						
	項	清掃費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 11 年度			
	目	ごみ処理費	根拠法令・要綱等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、明石市廃棄物の処理及び清掃に関する条例					
	事業	破砕選別施設運営事業							
施策分野	4 生活・環境分野 4-3 環境の保全と創造		実施方法	直営	<input type="radio"/>	補助・助成	<input type="checkbox"/>	その他	<input type="checkbox"/>
個別計画	一般廃棄物処理基本計画			委託	<input type="radio"/>	指定管理	<input type="checkbox"/>		

事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）				
	資源ごみ及び破砕処理対象の廃棄物を適正に処理し、リサイクルを推進するとともに、破砕選別施設の適正な維持管理を行う。				
	成果指標				
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
	資源化率	資源ごみ・粗大ごみ・一般不燃ごみを資源化に適した状態に選別・処理し、資源化したものを指標とする。	令和3年度	%	32.03
減量率	破砕選別施設受入量に対して、破砕選別施設において選別・処理後に発生した埋立量（灰・不燃物）の割合を指標とする。	令和3年度	%	12.60	
事業内容	①収集された資源ごみ（カン、ビン、ペットボトル）及び、粗大ごみ・一般不燃ごみを破砕選別施設で処理を行い資源化を促進する。 資源化率：資源化量/破砕選別施設受入量 *100% 令和元年度実績 27.61% 令和2年度見込み 32.03% 令和3年度見込み 32.03%				
	②資源ごみ（カン）及び粗大ごみ・一般不燃ごみの中の金属類（破砕鉄、粗大鉄くず、ベッドスプリング等）を売却する。 売却額 令和元年度実績 9,086千円 令和2年度見込み 4,296千円 令和3年度見込み 4,296千円				
	③破砕対象ごみを適正に分別することにより、最終処分場の延命化を図る。 減量率：埋立処分場/破砕選別施設受入量 *100% 令和元年度実績 12.87% 令和2年度見込み 12.60% 令和3年度見込み 12.60%				
	④破砕選別施設（平成11年4月稼働開始）の適正な維持管理（令和3年度） ・プラント設備保全工事 ・包括管理事業（5か年事業2年目）				
	SDGs(17の目標)				

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
										○	○					

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	1/3外	再任用	その他
01決算	445,604	12,150	457,754	0	229,300	26,074	202,380	正規	1.13	1/3外	0.00
02当初予算	481,181	9,153	490,334	0	229,800	20,938	239,596	再任用	0.00	その他	0.00
03当初予算	439,801	9,153	448,954	0	202,100	19,562	227,292	任期付	0.00	合計	1.13

令和2年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額	令和3年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	需用費	消耗品費等	370		需用費	消耗品費等	198
	委託料	包括管理事業、再商品化業務、ガラスレット再商品化業務等	250,953		委託料	包括管理事業、再商品化業務、ガラスレット再商品化業務等	237,399
	工事請負費	包括管理事業、プラント設備保全工事	229,801		工事請負費	包括管理事業、プラント設備保全工事	202,194
	旅費	近接地旅費	57		旅費	近接地旅費	10
	合計(A)				481,181	合計(B)	

予算増減(B)-(A)	-41,380	主な理由	委託料の減
--------------------	---------	-------------	-------

令和3年度 予算事業説明シート

事務事業名	一般廃棄物処理施設整備基金積立金	新規/継続	継続事業	事務事業の総点検の整理番号	0132403000-009	
		予算所管課	市民生活局環境室資源循環課			
		連絡先	(078)918-5790			
関連予算科目	会計	一般会計	事業所管課			
	款	衛生費	連絡先			
	項	清掃費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 25 年度
	目	ごみ処理費	根拠法令・要綱等	明石市一般廃棄物処理施設整備基金条例		
	事業	一般廃棄物処理施設整備基金積立金				
施策分野	4 生活・環境分野 4-3 環境の保全と創造	実施方法	直営	○	補助・助成	その他
個別計画	一般廃棄物処理基本計画	委託		指定管理		

事業の目的
目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）
 一般廃棄物処理施設整の整備費用に充てるための基金を設置し積み立てる。

成果指標

指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
基金累積積立額	年度末時点での基金累積積立額	令和3年度	千円	10,720

事業内容

一般廃棄物処理施設の整備を行う費用の一部とするため、電力売却収入の一部及びメガソーラー発電収入等を財源として基金を積み立てる。

平成30年度までの基金累積積立額：818,328千円

令和元年度実績 基金積立額：9,780千円
 (内訳)
 メガソーラー発電収入1,512千円、メガソーラー施設行政財産使用料8,120千円、基金運用利子148千円

令和2年度見込み 基金積立額：9,500千円
 (内訳)
 メガソーラー発電収入1,299千円、メガソーラー施設行政財産使用料8,120千円、基金運用利子81千円

令和3年度見込み 基金積立額：10,720千円
 (内訳)
 メガソーラー発電収入2,500千円、メガソーラー施設行政財産使用料8,120千円、基金運用利子100千円

SDGs(17の目標)

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
						○				○						

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	ｱﾊﾞｲﾄ	再任用	その他
01決算	9,780	405	10,185	0	0	9,780	405	正規	0.12	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
02当初予算	9,500	972	10,472	0	0	9,500	972	再任用	0.00	その他	0.00
03当初予算	10,720	972	11,692	0	0	10,720	972	任期付	0.00	合計	0.12

区分(節)	内容	金額	区分(節)	内容	金額
令和2年度当初予算事業費明細	積立金 一般廃棄物処理施設整備基金積立	9,500	令和3年度当初予算事業費明細	積立金 一般廃棄物処理施設整備基金積立	10,720
合計(A)		9,500	合計(B)		10,720

予算増減 (B)-(A)	1,220	主な理由	基金積立対象費の増
-----------------	-------	------	-----------

令和3年度 予算事業説明シート

事務事業名	魚住清掃工場解体事業	新規/継続	継続事業	<small>事務事業の総点検の整理番号</small>	0132403000-010		
		予算所管課	市民生活局環境室資源循環課				
		連絡先	(078)918-5790				
関連予算科目	会計	一般会計	事業所管課				
	款	衛生費	連絡先				
	項	清掃費	自治/法定	自治+法定	開始年度	令和 2 年度	
	目	し尿処理費	根拠法令・要綱等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、明石市廃棄物の処理及び清掃に関する条例			
	事業	魚住清掃工場解体事業					
施策分野	4 生活・環境分野 4-3 環境の保全と創造		実施方法	直営	○	補助・助成	その他
個別計画	一般廃棄物処理基本計画			委託		指定管理	

目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）
 残置された魚住清掃工場は老朽化し、他の使用用途が見込めないことから解体する。

事業の目的・目標	成果指標				
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
	工事の進捗状況	魚住清掃工場解体工事	令和3年度	%	100

事業内容
 魚住清掃工場解体工事
 ・2か年事業2年目

SDGs(17の目標)																
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)
										○						

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	ｱﾊﾞｲﾄ	その他	
01決算	0	0	0	0	0	0	0	正規	0.27	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
02当初予算	200,000	2,187	202,187	0	200,000	0	2,187	再任用	0.00	その他	0.00
03当初予算	185,900	2,187	188,087	0	185,900	0	2,187	任期付	0.00	合計	0.27

令和2年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額	令和3年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額	
	工事請負費	魚住清掃工場解体工事	200,000		工事請負費	魚住清掃工場解体工事	185,900	
	合計(A)				200,000	合計(B)		

予算増減(B)-(A)	-14,100	主な理由	工事請負費の減
--------------------	---------	-------------	---------

令和3年度 予算事業説明シート

事務事業名		(仮)新明石クリーンセンター建設事業		新規/継続	継続事業	事務事業の総点検の整理番号	0132403000-011									
				予算所管課		市民生活局環境室資源循環課										
				連絡先		(078)918-5788										
関連予算科目	会計	一般会計		事業所管課												
	款	衛生費		連絡先												
	項	清掃費		自治/法定	自治事務	開始年度	平成 30 年度									
	目	ごみ処理施設建設費		根拠法令・要綱等		廃棄物の処理及び清掃に関する法律、明石市廃棄物の処理及び清掃に関する条例										
	事業	(仮)新明石クリーンセンター建設事業														
施策分野		4 生活・環境分野		実施方法		直営	○	補助・助成	その他							
個別計画		一般廃棄物処理基本計画				委託	○	指定管理								
事業の目的・目標		目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）														
		現ごみ処理施設(平成11年供用開始)は、経年に伴う老朽化が進んでいるため、新ごみ処理施設整備に向けて施設整備基本計画の策定や基本設計・事業者選定支援業務を実施する。														
		成果指標														
		指標名	考え方・定義・式				目標年次	単位	目標値							
		施設整備基本計画策定	新ごみ処理施設の建設計画を進めるにあたり、施設整備の基本計画策定に向けて業務を実施する。				令和3年度	—	—							
基本設計・事業者選定支援	「(仮)新ごみ処理施設施設整備基本計画」に基づき、基本設計及び事業者選定支援業務を実施する。				令和5年度	—	—									
事業内容	活動名	活動内容 (〇〇するために、□□に対し、△△する)				活動実績		活動見込み								
						01年度	02年度	03年度								
	新ごみ処理施設整備に関する事業	生活環境影響調査を実施し、影響の予測及び周辺地域の生活環境に及ぼす影響の分析を実施する。				生活環境影響調査の実施	—	生活環境影響調査結果の縦覧等								
		基本計画等策定業務を実施する。				基本計画等策定に向けた検討の実施	基本計画等策定に向けた検討の実施	計画素案のバブコメ、計画策定等								
		基本設計及び事業者選定支援業務を実施する。				—	—	基本設計及び事業者選定支援等								
SDGs(17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
						○				○	○	○				
事業のコスト (単位：千円)		事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)							
					国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	3.19	アパ/バ	0.00				
01決算		60,891	36,450	97,341	20,485	33,900	5,261	37,695	再任用	0.00	その他	0.00				
02当初予算		45,377	25,839	71,216	9,321	30,100	3,550	28,245	任期付	0.00	合計	3.19				
03当初予算		16,951	25,839	42,790	4,000	9,400	1,600	27,790								
令和2年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容		金額	令和3年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容		金額							
	報酬	委員報酬		298		報酬	委員報酬		120							
	報償費	指導講師謝礼等		578		報償費	指導講師謝礼等		520							
	旅費	近接旅費等		500		旅費	近接旅費等		500							
	需用費	消耗品費、食糧費等		610		需用費	消耗品費、食糧費等		511							
	委託料	施設整備基本計画策定業務等		42,971		委託料	施設整備基本計画策定業務等		15,000							
	その他	役務費、会議室使用料、負担金		420		その他	役務費、会議室使用料、負担金		300							
	合計(A)					45,377	合計(B)				16,951					
予算増減 (B)-(A)		-28,426		主な理由	委託料の減											

令和3年度 予算事業説明シート

事務事業名	清掃総務一般事務事業	新規/継続	継続事業	<small>事務事業の総点検の整理番号</small>	0132404000-001			
		予算所管課	市民生活局環境室収集事業課					
		連絡先	(078)918-5780					
関連予算科目	会計	一般会計	事業所管課					
	款	衛生費	連絡先					
	項	清掃費	自治/法定	自治事務	開始年度	不明		
	目	清掃総務費	根拠法令・要綱等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律				
	事業	清掃総務一般事務事業						
施策分野	4 生活・環境分野 4-3 環境の保全と創造		実施方法	直営	○	補助・助成	その他	
個別計画	一般廃棄物処理基本計画			委託	○	指定管理		

事業の目的・目標
目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）
 一般廃棄物の収集運搬業務を適正かつ安全に行うため必要な措置を実施するとともに、計画的な建物設備等の保全を行い、施設の延命化を図る等適正な維持管理を行う。また、課の一般事務や、事故防止、安全作業の啓発等の安全衛生管理を行う。

成果指標

指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
施設の維持管理業務の委託数	施設や各種設備の点検を行い、安全・適正に維持するための管理業務を民間の専門業者に業務委託することを成果指標とする。	令和3年度	件	4
公務災害申請件数	ごみ収集運搬業務が安全かつ適正に行われていることを成果指標とする。(少ない方が良)	令和3年度	件	0

事業内容

ごみ収集業務における一般管理事務及び収集事業課事務棟等維持管理事業

- ①建物・設備の維持管理業務委託
- ②課の庶務事務(需用費、負担金等の執行を含む)
- ③各種研修会参加の手続、環境大臣、全都清会長、県知事など表彰の推薦
- ④必要な資格を取得するための講習の受講
- ⑤事故などの災害が発生した場合に、類似災害の再発防止対策検討会を開催し、再発防止に取り組む

SDGs(17の目標)

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
										○						

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	ｱﾊﾞｲﾄ	その他	
01決算	21,591	15,930	37,521	0	0	15	37,506	正規	1.60	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
02当初予算	22,135	14,310	36,445	0	0	13	36,432	再任用	0.00	その他	0.00
03当初予算	20,085	14,310	34,395	0	0	13	34,382	任期付	0.50	合計	2.10

区分(節)	内容	金額	令和3年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
需用費	施設修繕料、ガス代金、水道料金、その他消耗品等	6,383		需用費	施設修繕料、ガス代金、水道料金、その他消耗品等	4,649
役務費	電話料金等	142		役務費	電話料金等	142
委託料	施設の維持管理業務委託料等	13,679		委託料	施設の維持管理業務委託料等	13,648
使用料及び賃借料	電話交換機賃借料、コピー代等	1,292		使用料及び賃借料	電話交換機賃借料、コピー代等	1,282
備品購入費	備品購入費	450		備品購入費	備品購入費	200
その他	近接地旅費、安全運転管理者講習費等	189		その他	近接地旅費、安全運転管理者講習費等	164
合計(A)		22,135		合計(B)		20,085

予算増減(B)-(A)	-2,050	主な理由	需用費の減
--------------------	--------	-------------	-------

令和3年度 予算事業説明シート

事務事業名	ごみ収集運搬事業	新規/継続	継続事業	事務事業の総点検の整理番号	0132404000-002	
		予算所管課	市民生活局環境室収集事業課			
		連絡先	(078)918-5780			
関連予算科目	会計	一般会計	事業所管課			
	款	衛生費	連絡先			
	項	清掃費	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 34 年度
	目	ごみ処理費	根拠法令・要綱等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律		
	事業	ごみ収集運搬事業				
施策分野	4 生活・環境分野 4-3 環境の保全と創造		実施方法	直営 <input type="radio"/>	補助・助成 <input type="radio"/>	その他 <input type="radio"/>
個別計画	一般廃棄物処理基本計画		委託 <input type="radio"/>	指定管理 <input type="radio"/>		

事業の目的・目標
目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）
 明石市内の一般家庭から排出される家庭系一般廃棄物の直営地域の収集運搬について、直営部門が保有する資源（人や車）の高度活用を行いながら、一般廃棄物処理計画に基づき、適正、円滑、効率的に実施し、市民サービスの向上を図る。

成果指標				
指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
ふれあい収集実施件数	一人暮らしでごみ排出が困難な方を対象に戸別収集を行うことを成果指標とする。	令和3年度	件	110
ごみの不適正排出の指導件数	分別できていないごみや市で収集できないごみについて、自治会等と連携して警告看板の設置、啓発指導を行うことを成果指標とする。	令和3年度	件	80

- 事業内容**
- ① 令和3年度の実施予定（市内の西部地区）
可燃ごみ 週2回（月・木、火・金）計209回、不燃ごみ 2週間で1回（第2・4水）計24回、資源ごみ 2週間で1回（第1・3・5水）計28回の収集を予定
 - ② ごみ分別収集カレンダーの作成、市民への啓発
 - ③ ごみ収集車両の点検、検査など維持管理
 - ④ 不法投棄防止パトロール、不法投棄の苦情、対処
 - ⑤ 問い合わせ、苦情その他連絡調整
 - ⑥ 収集後のごみ置場の清掃
 - ⑦ 市内の学校へのごみ啓発活動
 - ⑧ 自治会など市民団体へのごみ啓発活動
 - ⑨ ごみ置場のパトロールなどの実施
 - ⑩ 1人暮らしの高齢者や障害者など要援護世帯へのごみ戸別収集「ふれあい収集」
 - ⑪ コンプライアンスの徹底と市民サービス向上を推進

SDGs(17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
										○						

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	ｱﾊﾞｲ	その他	
01決算	33,567	337,230	370,797	0	0	0	370,797	正規	40.40	ｱﾊﾞｲ	0.00
02当初予算	46,158	329,940	376,098	0	0	0	376,098	再任用	0.00	その他	0.00
03当初予算	42,692	329,940	372,632	0	0	0	372,632	任期付	1.00	合計	41.40

令和2年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額	令和3年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	需用費	作業用資材、燃料、車両点検修理等	39,850		需用費	作業用資材、燃料、車両点検修理等	36,802
役務費	車両共済分担金、自賠責保険料	1,894	役務費	車両共済分担金、自賠責保険料	1,830		
委託料	車庫排水溝等清掃業務委託等	2,282	委託料	車庫排水溝等清掃業務委託等	1,860		
使用料及び賃借料	ごみステーション管理システム 機器リース料	977	使用料及び賃借料	ごみステーション管理システム 機器リース料	977		
公課費	車両重量税	1,100	公課費	車両重量税	1,150		
その他	旅費、研修負担金等	55	その他	旅費、研修負担金等	73		
合計(A)			46,158	合計(B)			42,692

予算増減 (B)-(A)	-3,466	主な理由	需用費の減
-----------------	--------	------	-------

令和3年度 予算事業説明シート

事務事業名	ごみ収集運搬委託事業	新規/継続	継続事業	<small>事務事業の総点検の整理番号</small>	0132404000-003		
		予算所管課	市民生活局環境室収集事業課				
		連絡先	(078)918-5780				
関連予算科目	会計	一般会計	事業所管課				
	款	衛生費	連絡先				
	項	清掃費	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 42 年度	
	目	ごみ処理費	根拠法令・要綱等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律			
	事業	ごみ収集運搬委託事業					
施策分野	4 生活・環境分野 4-3 環境の保全と創造	実施方法	直営		補助・助成		その他
個別計画	一般廃棄物処理基本計画		委託	○	指定管理		

事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）				
	明石市内の一般家庭から排出される家庭系一般廃棄物及び、犬・ねこ等小動物の死体、屋外一斉清掃土砂等の収集運搬業務について、一般廃棄物処理計画に基づき、民間委託を活用し、業務の効率化と人件費の抑制を図る。				
	成果指標				
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
犬、ねこ等小動物の回収数	市民等からの連絡を受け亡くなった犬、ねこ等の小動物を回収する。	令和3年度	数	2,010	
屋外一斉清掃を実施した団体数	自治会等を中心とした地域住民が協力して、道路や水路その周辺などの清掃を行ったのべ団体数を成果指標とする。	令和3年度	のべ団体数	800	
事業内容	① 令和3年度の実施予定（市内の東部地区及び西部地区の一部コース） 可燃ごみ 週2回（月・木、火・金）計209回、不燃ごみ 2週間に1回（第1・3水）計24回、資源ごみ 2週間に1回（第2・4・5水）計28回の収集業務の委託				
	② 犬ねこ等小動物の死体収集運搬業務の収集業務の委託（令和2年度見込み：2000）				
	③ 屋外一斉清掃収集運搬業務の土砂等の収集業務の委託（令和2年度見込み：460t）				
	④ 犬ねこ等小動物の死体収集受付、屋外一斉清掃の連絡受付等その他連絡調整業務				
	SDGs(17の目標)				

SDGs(17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
										○						

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	再任用	任期付	その他
01決算	478,460	17,820	496,280	0	0	2,851	493,429	正規	2.20	7/11/1	0.00
02当初予算	542,839	18,630	561,469	0	0	2,700	558,769	再任用	0.00	その他	0.00
03当初予算	532,499	18,630	551,129	0	0	2,700	548,429	任期付	0.30	合計	2.50

令和2年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額	令和3年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額	
	委託料	ごみ収集運搬業務に係る委託料	542,839		委託料	ごみ収集運搬業務に係る委託料	532,499	
		合計(A)			542,839		合計(B)	

予算増減(B)-(A)	-10,340	主な理由	委託料の減
--------------------	---------	-------------	-------

令和3年度 予算事業説明シート

事務事業名	粗大ごみ収集運搬事業	新規/継続	継続事業	事務事業の総点検の整理番号	0132404000-005	
		予算所管課	市民生活局環境室収集事業課			
		連絡先	(078)918-5780			
関連予算科目	会計	一般会計	事業所管課			
	款	衛生費	連絡先			
	項	清掃費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 16 年度
	目	ごみ処理費	根拠法令・要綱等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律		
	事業	粗大ごみ収集運搬事業				
施策分野	4 生活・環境分野 4-3 環境の保全と創造	実施方法	直営 <input type="radio"/>	補助・助成 <input type="radio"/>	その他 <input type="radio"/>	
個別計画	一般廃棄物処理基本計画	委託 <input type="radio"/>	指定管理 <input type="radio"/>			

事業の目的・目標
目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）
 明石市内の一般家庭から排出される粗大ごみを一般廃棄物処理計画に基づき、有料で戸別収集を行い、適正処理と資源化を実施する。

成果指標

指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
粗大ごみ収集量	粗大ごみ収集による適正処理、資源化を行う。	令和3年度	t	730
受付センター受付等業務件数	長時間の受付業務を行うことにより、より多くの市民からの収集申込や問い合わせ等に応じる。	令和3年度	件	64,900

事業内容

令和3年度の実施予定
 ・粗大ごみの収集を行う(月～土)。
 (令和2年度収集申し込み受付見込み件数:26,000件)
 ・粗大ごみ収集受付業務を委託する。
 <処理の流れ>
 ①粗大ごみの収集について、あらかじめ粗大ごみ受付センターへ電話による申し込み・受付を行う。
 ②粗大ごみ処理券を購入する。
 ③粗大ごみ処理券を貼って受付時に決めた場所へ出す。
 ④市が収集する。

SDGs(17の目標)

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
										○						

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	ｱﾊﾞｲﾄ	その他	
01決算	26,543	68,580	95,123	0	0	24,476	70,647	正規	8.40	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
02当初予算	27,250	68,580	95,830	0	0	24,000	71,830	再任用	0.00	その他	0.00
03当初予算	27,517	68,580	96,097	0	0	28,200	67,897	任期付	0.20	合計	8.60

区分(節)	内容	金額	区分(節)	内容	金額
需用費	粗大ごみ処理券印刷、燃料、車両点検修理等	5,350	需用費	粗大ごみ処理券印刷、燃料、車両点検修理等	5,495
役務費	粗大ごみ処理券販売手数料 車両共済分担金等	3,113	役務費	粗大ごみ処理券販売手数料 車両共済分担金等	3,521
委託料	粗大ごみ受付業務委託	14,283	委託料	粗大ごみ受付業務委託	14,283
使用料及び賃借料	粗大ごみ受付システム機器リース料	4,294	使用料及び賃借料	粗大ごみ受付システム機器リース料	4,008
公課費	車両重量税	210	公課費	車両重量税	210
合計(A)		27,250	合計(B)		27,517

予算増減 (B)-(A)	267	主な理由	役務費の増
-----------------	-----	------	-------

令和3年度 予算事業説明シート

事務事業名	産業廃棄物対策事業	新規/継続	継続事業	事務事業の総点検の整理番号	0132405000-001		
		予算所管課	市民生活局環境室産業廃棄物対策課				
		連絡先	(078)918-5784				
関連予算科目	会計	一般会計	事業所管課				
	款	衛生費	連絡先				
	項	保健衛生費	自治/法定	自治+法定	開始年度	平成 29 年度	
	目	環境衛生費	根拠法令・要綱等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法、明石市紛争の予防及び調整に関する条例等			
	事業	産業廃棄物対策事業					
施策分野	4 生活・環境分野		実施方法	直営	○	補助・助成	その他
	4-3 環境の保全と創造			委託		指定管理	
個別計画							

目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）
 産業廃棄物処理業者や排出業者への指導監督等を行い、産業廃棄物を適正に処理することにより、生活環境の保全及び向上を図る。

成果指標					
指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値	
産業廃棄物処理業者等への立入検査	産業廃棄物処理業者等に対して立入検査を行い、法令の順守状況を確認する。	令和3年度	件	80	
高濃度PCB廃棄物の未処理件数	高濃度PCB廃棄物保管事業者に対して、指導、改善命令、行政代執行により高濃度PCB廃棄物の処理を進める。	令和3年度	件	0	

- 事業内容**
- ①廃棄物処理施設の設置許可等：産業廃棄物処理施設及び一般廃棄物処理施設等の設置許可等
 令和元年度実績：0件 令和2年度見込み：1件 令和3年度見込み：1件
 - ②廃棄物処理業者の許可等：産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物の収集運搬業、処分業の許可等
 令和元年度実績：4件 令和2年度見込み：2件 令和3年度見込み：6件
 - ③廃棄物の適正な管理：産業廃棄物管理票交付等状況報告書の届出受付
 令和元年度実績：866件 令和2年度見込み：880件 令和3年度見込み：880件
 - ④使用済自動車の引取業の登録等：引取業、7トン類回収業の登録申請受理、解体業、破砕業の許可等
 令和元年度実績：5件 令和2年度見込み：6件 令和3年度見込み：1件
 - ⑤ポリ塩化ビフェニル(PCB)廃棄物の保管・処分の状況に関する届出の受理等：PCB廃棄物の保管・処分の状況に関する届出受理
 令和元年度実績：169件 令和2年度見込み：195件 令和3年度見込み：130件
 - ⑥廃棄物処理業者等の指導監督：産業廃棄物、使用済自動車、PCB廃棄物に関する立ち入り検査や指導等
 令和元年度実績：121件 令和2年度見込み：37件 令和3年度見込み：80件
 - ⑦廃棄物の多量排出事業者からの報告書の受理等：産業廃棄物を1000t以上排出する事業者等からの届出受理等
 令和元年度実績：78件 令和2年度見込み：77件 令和3年度見込み：80件
 - ⑧土砂埋立等の許可：1,000m²以上の埋立の許可
 令和元年度実績：8件 令和2年度見込み：9件 令和3年度見込み：9件
 - ⑨近畿ブロック産業廃棄物処理対策協議会への参加
 令和元年度実績：21回 令和2年度見込み：18回 令和3年度見込み：20件
 - ⑩不適正処理事案等の対応及びパトロール
 令和元年度実績：103日 令和2年度見込み：120日 令和3年度見込み：120日

SDGs(17の目標)																
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)
											○					

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	非常勤	その他	
01決算	3,776	57,500	61,276	50	0	507	60,719	正規	6.00	非常勤	0.00
02当初予算	4,117	57,600	61,717	298	0	265	61,154	再任用	1.00	その他	0.00
03当初予算	73,632	57,600	131,232	267	0	53,150	77,815	任期付	2.00	合計	9.00

令和2年度 当初予算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額	令和3年度 当初予算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額
	旅費	研修旅費等	760		旅費	研修旅費等	500
需用費	消耗品等、燃料費等	852	需用費	消耗品等、燃料費等	803		
委託料	産業廃棄物管理システム保守業務等	1,994	委託料	PCB廃棄物処理委託(行政代執行)等	71,899		
使用料及び賃借料	コピー使用料等	198	使用料及び賃借料	コピー使用料等	163		
負担金補助及び交付金	近畿ブロック産業廃棄物処理対策協議会等	147	負担金補助及び交付金	近畿ブロック産業廃棄物処理対策協議会等	147		
その他	報償費、役務費	166	その他	報償費、役務費、公課費	120		
合計(A)			4,117	合計(B)			73,632

予算増減(B)-(A)	69,515	主な理由	委託料(行政代執行に伴うPCB廃棄物処理)の増
-------------	--------	------	-------------------------

令和3年度 予算事業説明シート

事務事業名	狂犬病予防対策事業	新規/継続	継続事業	事務事業の総点検の整理番号	0132406000-001	
		予算所管課	市民生活局環境室あかし動物センター			
		連絡先	(078)918-5797			
関連予算科目	会計	一般会計	事業所管課			
	款	衛生費	連絡先			
	項	保健衛生費	自治/法定	自治+法定	開始年度	平成 12 年度
	目	予防費	根拠法令・要綱等	狂犬病予防法		
	事業	狂犬病予防対策事業				
施策分野						
個別計画		実施方法	直営	<input type="radio"/>	補助・助成	
			委託	<input type="radio"/>	指定管理	

事業の目的・目標
目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）
 狂犬病の発生予防を目的に、犬の飼い主に対し登録及び狂犬病予防注射の重要性について啓発及び実施を促し、公衆衛生の向上を図る。

成果指標				
指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
狂犬病予防注射接種率	注射頭数 ÷ 登録頭数	令和3年度	%	75

事業内容

- ①4月に市内各地域の23会場で集合注射及び登録を実施
- ②委託先である獣医師会からの「畜犬登録、注射済報告」の事後の事務処理
- ③窓口における畜犬登録、注射済票発行事務
- ④狂犬病予防注射の通知書の送付
- ⑤狂犬病予防注射未接種者に対する勧奨ハガキの送付
- ⑥狂犬病予防注射のポスターの設置
- ⑦犬の抑留・返還・処分
- ⑧狂犬病発生時の措置

(令和元年度実績)
 新規登録1008頭 注射頭数 9,509頭 登録頭数13,364頭
 (令和2年度見込)
 新規登録1060頭 注射頭数 9,300頭 登録頭数13,700頭
 (令和3年度見込)
 新規登録1100頭 注射頭数 10,000頭 登録頭数14,000頭

SDGs(17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
		○	○							○						

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	ｱﾊﾞｲﾄ	その他	
01決算	2,126	15,010	17,136	0	0	8,286	8,850	正規	1.00	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
02当初予算	3,347	19,620	22,967	0	0	7,765	15,202	再任用	0.30	その他	0.00
03当初予算	3,129	19,620	22,749	0	0	8,286	14,463	任期付	1.00	合計	2.30

令和2年度 当初予算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額	令和3年度 当初予算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額
	需用費	消耗品費(注射済票、鑑札ほか)ほか	647		需用費	消耗品費(注射済票、鑑札ほか)ほか	529
	役務費	予防接種通知郵送料	1,100		役務費	予防接種通知郵送料	1,100
	委託料	手数料収納事務、通知ハガキ圧着加工費	1,600		委託料	手数料収納事務、通知ハガキ圧着加工費	1,500
	合計(A)		3,347		合計(B)		3,129

予算増減 (B)-(A)	-218	主な理由	委託料等の減
-----------------	------	------	--------

令和3年度 予算事業説明シート

事務事業名 あかし動物センター管理運営事業		新規/継続	継続事業	事務事業の総点検の整理番号	0132406000-002													
		予算所管課		市民生活局環境室あかし動物センター														
		連絡先		(078)918-5797														
関連予算科目	会計	一般会計		事業所管課														
	款	衛生費		連絡先														
	項	保健衛生費		自治/法定	自治+法定	開始年度	平成 30 年度											
	目	動物センター費		根拠法令・要綱等 動物の愛護及び管理に関する法律														
	事業	あかし動物センター管理運営事業																
施策分野				実施方法														
個別計画				直営	○	補助・助成	その他											
				委託	○	指定管理												
事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）																	
	「人と動物の共生による めくもりと安らぎのあるまち 明石」を基本方針に、動物の管理、動物取扱業の登録・指導のほか、動物の適正飼養の啓発や、ペットに関する相談など、動物に関わる様々な業務を積極的に展開し、広く市民の方々に親しまれる施設の運営を行う。																	
	成果指標																	
	指標名	考え方・定義・式			目標年次	単位	目標値											
	動物愛護に関するイベント回数	市民に動物に対する理解や命の大切さを伝えるイベントの開催。			令和3年度	回	10											
動物取扱業者への監視・指導	動物の愛護及び管理に関する法律に基づく、動物取扱業者への監視・指導。			令和3年度	件	50												
事業内容	①動物愛護思想の普及啓発 ②動物の適正飼養の啓発、指導 ③ペットに関する相談受付 ④犬、猫の引取り ⑤負傷した犬、猫等の収容 ⑥犬、猫の返還、譲渡及び処分 ⑦行方不明動物の情報管理 ⑧第一種、第二種動物取扱業の登録受付、監視、指導 ⑨特定動物の飼養、保管許可、監視、指導 ⑩実験動物飼養施設の届出 ⑪飼い主のいない猫去勢不妊手術助成金の交付 ⑫動物愛護週間事業 飼い主のいない猫去勢不妊手術助成金交付実績(助成額上限:オス 5,000円/1匹、メス 10,000円/1匹) (令和元年度実績) オス 233匹 メス 339匹 合計 572匹 (令和2年度見込) オス 222匹 メス 338匹 合計 560匹 (令和3年度見込) オス 250匹 メス 325匹 合計 575匹 「明石まちなこプロジェクト」の実施 ・令和3年度より、飼い主のいない猫によるトラブル解決にむけて、モデル地域を選定し、地域・ボランティア・関係団体等・行政が一体となった取組みを推進する。																	
	SDGs(17の目標)																	
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	
			○	○							○							○
	事業のコスト(単位:千円)		事業費	人件費(参考値)	総事業費(参考値)	財源内訳				令和2年度人員配置(人)								
					国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	アルバイト								
01決算		44,199	24,350	68,549	0	0	291	68,258	4.60	0.00								
02当初予算		46,672	20,700	67,372	0	0	360	67,012	0.60	0.00								
03当初予算		44,265	20,700	64,965	0	0	771	64,194	1.00	6.20								
令和2年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容		金額	令和3年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容		金額									
	報償費	講習会講師謝礼、トレーナー謝礼ほか		1,000		報償費	講習会講師謝礼、トレーナー謝礼ほか		660									
	委託料	維持管理業務委託(動物、施設清掃、施設維持管理)ほか		29,560		委託料	維持管理業務委託(動物、施設清掃、施設維持管理)ほか		29,090									
	備品購入費	消毒生成器		500		備品購入費	夜間自動撮影カメラ		23									
	使用料及び賃借料	動物取扱業責任者講習会会場借上、コピー使用料ほか		505		使用料及び賃借料	動物取扱業責任者講習会会場借上、コピー使用料ほか		505									
	負担金補助及び交付金	飼い主のいない猫去勢・不妊手術助成金ほか		4,543		負担金補助及び交付金	飼い主のいない猫去勢・不妊手術助成金ほか		5,040									
	その他	旅費、需用費、役務費ほか		10,564		その他	旅費、需用費、役務費ほか		8,947									
	合計(A)					46,672	合計(B)				44,265							
予算増減(B)-(A)		-2,407		主な理由	備品購入費等の減													

令和3年度 予算事業説明シート

事務事業名	人にも動物にもやさしいまち事業	新規/継続	継続事業	<small>事務事業の総点検の整理番号</small>	0132406000-003				
		予算所管課	市民生活局環境室あかし動物センター						
		連絡先	(078)918-5797						
関連予算科目	会計	一般会計		事業所管課					
	款	衛生費		連絡先					
	項	保健衛生費		自治/法定	自治事務	開始年度 令和元年度			
	目	動物センター費		根拠法令・要綱等	動物の愛護及び管理に関する法律				
	事業	人にも動物にもやさしいまち事業							
施策分野			実施方法	直営	○	補助・助成		その他	
個別計画				委託		指定管理			

事業の目的・目標
目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）
 市民、各種団体、企業などと協働を図り、譲渡事業、啓発事業等、更には教育分野での取り組みを”人にも動物にもやさしいまちプロジェクト”として位置付け、人も動物も、共に住みやすいまちの実現に向けた取り組みを実施する。

成果指標

指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
プロジェクト数	人も動物も共に住みよいまちの実現に向けた積極的な啓発イベントや授業等の施策の実施。	令和3年度	施策数	4

事業内容

①獣医師による出前授業の開催
 ・令和元年度 市内小学校2校実施(モデル校)
 ・令和2年度 市内小学校3校実施予定
 ・令和3年度 実施小学校拡充予定

②動物愛護事業サポーター制度
 ・令和元年度実施 あかしぽサポーター100名募集で76名登録
 ・令和2年度実施 あかしぽサポーターの活用(譲渡先、市民意識の調査協力)
 ・令和3年度実施予定 新たなボランティアの募集

③人と動物の共生によるまちづくり連絡会の開催
 ・多頭飼育崩壊や飼育困難等、関係機関が情報を共有し、また協働して課題に対処する。

SDGs(17の目標)

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
		○	○							○						○

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)		
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	ｱﾊﾞｲﾄ	その他
01決算	127	18,140	18,267	0	0	0	18,267	0.40	0.00	0.00
02当初予算	550	17,280	17,830	0	0	0	17,830	0.10	0.00	0.00
03当初予算	330	17,280	17,610	0	0	0	17,610	0.00	0.50	0.00

区分(節)	内容	金額	区分(節)	内容	金額
報償費	授業関連教材デザイン謝礼ほか	150	報償費	授業関連教材デザイン謝礼・連絡会会員謝礼	150
需用費	消耗品費ほか	400	需用費	消耗品費ほか	150
			備品購入費	ハンディレコーダー	30
合計(A)			合計(B)		
550			330		

予算増減(B)-(A)	-220	主な理由	消耗品費等の減
--------------------	------	-------------	---------